

平成 23 年度

朝日町教育委員会事務事業点検・評価報告書
(平成 22 年度分)

朝日町教育委員会

目 次

| | |
|--|----------|
| I. 朝日町教育委員会事務事業の点検・評価について | 1 |
| 1. 制度の概要及び目的 | 1 |
| 2. 点検・評価の対象事業 | 1 |
| 3. 点検・評価の方法 | 1 |
| 4. 学識経験者の知見の活用 | 1 |
| II. 平成 22 年度教育委員会活動状況 | 2 |
| 1. 教育委員の選任状況 | 2 |
| 2. 教育委員会会議開催状況 | 2 |
| 3. 教育委員学校訪問 | 5 |
| 4. 各種会議、大会、研修会等への参加 | 5 |
| III. 施策の体系 | 6 |
| IV. 外部評価委員の意見 | 7 |
| 1. 教育委員会の活動についての意見 | 7 |
| 2. 事務事業の点検・評価についての意見 | 7 |
| V. 点検評価の結果（事務事業点検・評価調書） | 9 |

整理番号

| |
|---|
| 1 |
|---|

 ~

| |
|----|
| 39 |
|----|

I. 朝日町教育委員会事務事業の点検・評価について

1. 制度の概要及び目的

平成 19 年 6 月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正（平成 20 年 4 月 1 日施行）され、教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について、自ら点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表しなければならないこととなりました。また、この点検・評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされています。

この法律の改正を受け、朝日町教育委員会では、効率的な教育行政の推進に資するとともに、町民に対する説明責任を果たすため、平成 22 年度に行った事務事業について、3 名の外部評価委員（朝日町教育事務評価委員）の方々の意見をいただきながら点検・評価を実施するとともに、その結果を報告書としてまとめました。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 27 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 3 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2. 点検・評価の対象事業

点検・評価は、平成 22 年度に実施した朝日町教育委員会所管の 45 事務事業のうち、平成 22 年度繰越明許 6 事業を除く、39 事務事業を対象に実施しており、当該年度分としては 100% となっています。

3. 点検・評価の方法

各事業について、「必要性」及び「効率性・有効性」の観点から分析評価したうえで、今後の方向性として「拡充」、「継続」、「縮小」、「見直し」及び「休廃止」に区分して明らかにしました。その内容は、事業ごとに「事務事業点検・評価調書」としてまとめています。

4. 学識経験者の知見の活用

教育委員会が行った点検・評価についてその客観性を確保するため、3 名の学識経験者を外部評価委員（朝日町教育事務評価委員）として委嘱し、点検・評価の内容についてご意見をいただきました。

朝日町教育事務評価委員

| 氏 名 | 役 職 名 等 |
|---------|--------------------|
| 真 木 吉 雄 | 山形大学大学院教育実践研究科 准教授 |
| 多 田 秀 人 | 有識者（前公立小学校長） |
| 西 澤 敬 子 | 有識者（ボランティア活動家） |

Ⅱ. 平成 22 年度教育委員会活動状況

1. 教育委員の選任状況

| 職 | 氏名 | 職業 | 備 | 考 |
|-----------|-------|-------|----------------|----------------------|
| 委員長 | 小林 道和 | | 朝日町大字四ノ沢 913 | |
| 委員(職務代理者) | 登坂 高典 | 僧 侶 | 朝日町大字三中 244 | H22.9.30 まで |
| 委 員 | 柴田 泰子 | 会社員役員 | 朝日町大字四ノ沢 186-2 | H22.10.1 から 職務代理者 |
| 委 員 | 堀 浩一 | 会社員 | 朝日町大字中沢 306 | |
| 教育長 | 安藤 昭郎 | | 朝日町大字宮宿 807-1 | |

2. 教育委員会会議開催状況

| 開催日 | | 議案並びに主な報告・協議案件 |
|---------------------|----|---|
| 平成 22 年 4 月 22 日 | 議案 | 議第 8 号 朝日町教育委員会事務事業点検・評価実施要綱の設定について 議第 9 号 平成 22 年度就学指導委員会委員の委嘱について 議第 10 号 朝日町社会教育委員の委嘱について 議第 11 号 朝日町立中央公民館兼朝日町立中部公民館運営審議会委員、朝日町立西部公民館運営審議会委員及び朝日町立北部公民館運営審議会委員の委嘱について 議第 12 号 朝日町体育指導委員の委嘱について 議第 13 号 朝日町文化財保護委員の欠員補充について |
| | 報告 | 1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ①山形県縦断駅伝競走大会について ②朝日町成人式について ③平成 22 年度朝日町校長会活動方針及び研修課題等について ④平成 22 年度小中学校職員及び事務局職員事務分担について ⑤平成 22 年度教育関係予算及び平成 21 年度繰越明許について |
| | 協議 | 1. 西村山教育委員協議会の研修について 2. 総務文教委員との懇談会の実施について 3. 教育委員研修について 4. あさひ保育園、子育て支援センターあさひの視察について |
| 平成 22 年 5 月 25 日 | 議案 | 議第 14 号 朝日町教育事務評価委員の委嘱について |
| | 報告 | 1. 教育長委任事項報告 (日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ①寄付採納について ②教育委員学校訪問について ③西村山地区駅伝競走大会結果について ④NRTの結果について ⑤緊急雇用事業として教育委員会に臨時職員配置について |
| | 協議 | 1. 西村山教育委員協議会朝日町大会の内容について 2. 総務文教委員との研修及び懇談会について |

| | | |
|----------------------|----|--|
| 平成 22 年 6 月 25 日 | 報告 | 1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の事項) 2. 報告事項 ①西村山中学校総合体育大会結果について ②朝日中学校キャリアスタートウィークについて ③朝日町立小学校水泳記録会について ④海の子山の子交流「海の集い」について ⑤お寺のまるごと一日体験塾について 説明 ⑥町民プールオープンについて 説明 ⑦創遊館ホール事業「江戸家猫八襲名独演会」について |
| | 協議 | 1. 宮宿小学校屋内運動場の改築について 2. 平成 22 年度朝日町教育委員会事務事業点検・評価について |
| 平成 22 年 7 月 27 日 | 議案 | 議第 15 号 平成 23 年度使用教科用図書採択について 議第 16 号 朝日町教育委員会事務事業点検・評価について |
| | 報告 | 1. 教育長委任事項(日程的な事項・当面の事項) 2. 報告事項 ①学力テスト各校の分析結果について ②宮宿小学校屋内運動場改築について ③小・中学校各種大会結果について ④西村山教育委員会連絡協議会総会及び教育委員研修会について ⑤学校町職員等廃校等の清掃作業の実施について ⑥高校生全国大会の出場について ⑦7 月 2 日豪雨による災害について |
| | 協議 | 1. 朝日町教育振興計画の策定について |
| 平成 22 年 8 月 23 日 | 報告 | 1. 教育長委任事項 (日程的な事項・当面の事項) 2. 報告事項 ①平成 22 年度朝日町就学指導委員会事業計画について ②中学校総合体育大会東北大会の結果について ③第 13 回県ジュニア駅伝競走大会・第 35 回蔵王坊平クロスカントリー大会の結果について |
| | 協議 | 1. 教育委員の視察研修について |
| 平成 22 年 9 月 29 日 | 報告 | 1. 教育長委任事項(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ①西村山中学校新人総合体育大会成績について ②第 27 回アップル駅伝競走大会について ③第 46 回朝日町芸術文化祭について ④あさひまち図書館まつりについて ⑤教育文化課施設等整備進捗状況について |
| | 協議 | 1. 宮宿小学校屋内運動場基本計画図について |
| 平成 22 年 10 月 27 日 | 議案 | 議第 17 号 朝日町教育委員会委員の議席の指定について |
| | 報告 | 1. 教育長委任事項 (日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ①第 27 回アップル駅伝競走大会結果について ②中学校新人総体南ブロック大会結果について ③全国学力・学習状況調査について ④町 P T A 連合会要望書の提出について |

| | | |
|----------------------|----|---|
| | 協議 | 1. 宮宿小学校屋内運動場改築について 2. 朝日町教育振興計画の施策と体系について |
| 平成 22 年 11 月 24 日 | 議案 | 議第 18 号 平成 22 年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について |
| | 報告 | 1. 教育長委任事項の報告（日程的な事項・当面の日程） 2. 報告事項 ①第 57 回西村山地区駅伝競走大会の結果について ②第 26 回山形県女子駅伝競走大会の結果について ③朝日町図書館まつりについて ④朝日町小中学校ひめさゆり俳句大会の結果について ⑤朝日中学校灯油漏れ事故について ⑥朝日町スクールバス交通事故について |
| | 協議 | 1. 西五百川小学校屋内運動場の安全対策について |
| 平成 22 年 12 月 21 日 | 議案 | 議第 19 号 平成 22 年度朝日町立小中学校の校医の変更について |
| | 報告 | 1. 教育長委任事項報告（日程的な事項・当面の日程） 2. 報告事項 ①阿部宗一郎氏文部科学大臣表彰受賞について ②平成 22 年度朝日町小学校スキー記録会について ③海の子山の子交流「山の集い」の開催について ④朝日町 P T A 連合会要望の回答について |
| | 協議 | 1. 西五百川小学校屋内運動場の安全対策について 2. 教育委員の研修について |
| 平成 23 年 1 月 20 日 | 議案 | 議第 1 号 平成 23 年度特別支援教育等が必要な児童生徒の決定について |
| | 報告 | 1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ①地域振興センターについて |
| | 協議 | 1. 朝日町小中学校スクールバス等通学の基準について |
| 平成 23 年 2 月 22 日 | 報告 | 1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ①平成 22 年度朝日町一般会計第 8 回補正予算について ②平成 22 年度朝日町一般会計第 9 回補正予算について ③平成 23 年度朝日町一般会計当初予算について ④朝日中学校耐震工事変更契約について ⑤宮宿小学校屋内運動場改築関係について ⑥朝日町立公民館類似施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について ⑦朝日町自治公民館建築事業補助金交付規程の改正について |
| | 協議 | 1. 西村山地区高校再編について 2. 平成 23 年度朝日町学校教育の方針について 3. 地域振興センターについて 4. 朝日町教育振興計画について 5. 大沼浮島の報告書について 6. スクールバスの冬季間利用について 7. 平成 22 年度朝日町立小・中学校卒業式への出席について |

| | | |
|---------------------|----------|---|
| 平成 23 年 3 月 11 日 | 議案 協議 | 議第 2 号 平成 23 年度朝日町立小・中学校教職員人事異動内申について 1. 朝日町教育振興計画について |
| 平成 23 年 3 月 30 日 | 議案 | 議第 3 号 平成 23 年度要保護準要保護児童生徒の認定について 議第 4 号 平成 23 年度朝日町立小中学校の校医等の委嘱について |

3. 教育委員学校訪問

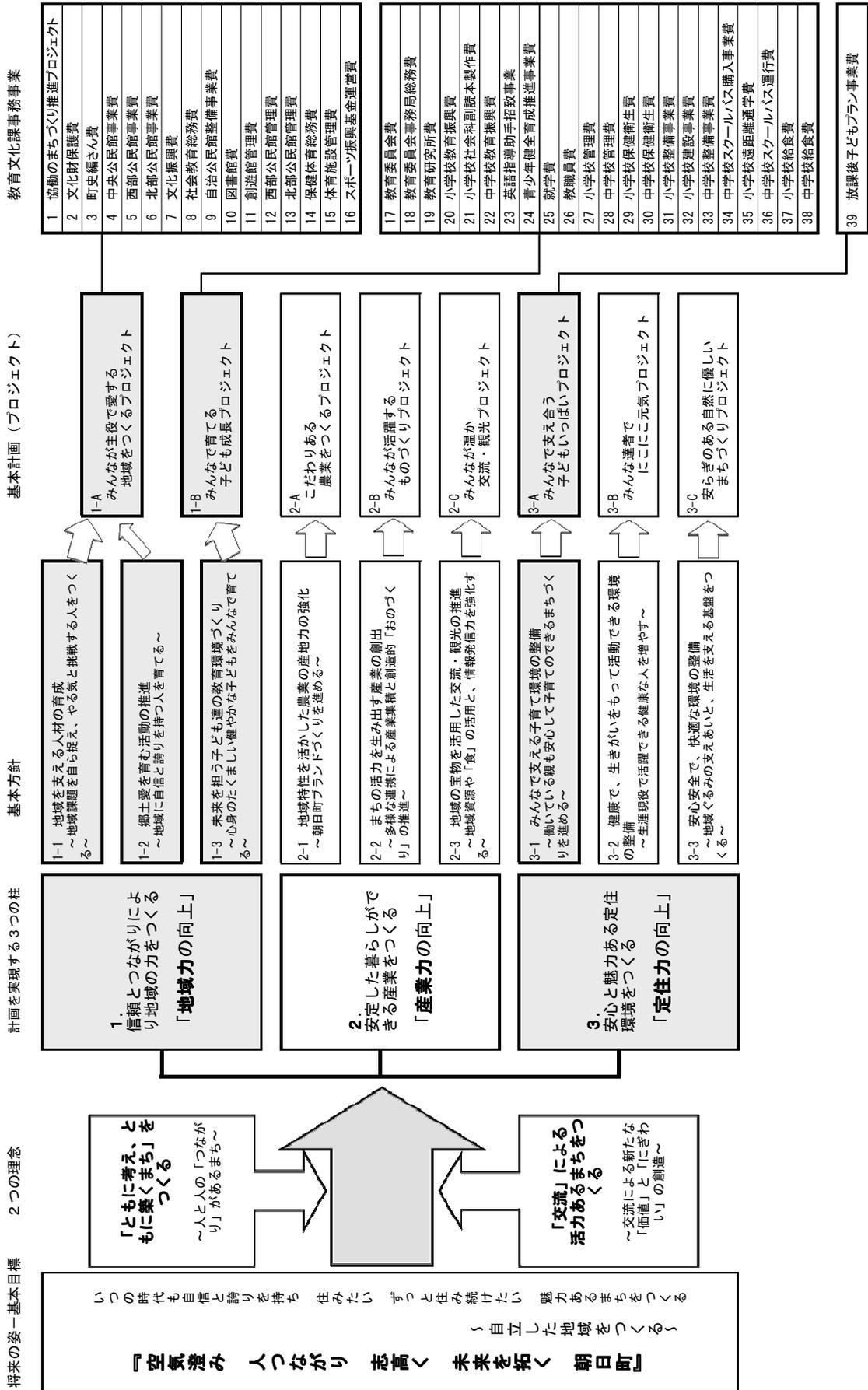
| 年 月 日 | 実 施 校 | 内 容 |
|------------------|-------------|---|
| 平成 22 年 6 月 11 日 | 朝日町立朝日中学校 | ①学校経営概要説明 ②授業参観並びに校舎等巡視 ③懇談 ④学校経営へのアドバイス |
| 平成 22 年 6 月 15 日 | 朝日町立西五百川小学校 | |
| 平成 22 年 6 月 23 日 | 朝日町立宮宿小学校 | |
| 平成 22 年 6 月 29 日 | 朝日町立大谷小学校 | |

4. 各種会議、大会、研修会等への参加

| 年 月 日 | 会議、大会等名 | 場 所 | 出 席 者 |
|---------------------------|-----------------|---------|-------|
| 平成 22 年 4 月 1 日 | 町辞令交付式 | 開発センター | 委員長 |
| 平成 22 年 4 月 1 日 | 朝日町教職員辞令交付式 | 創遊館 | 全員 |
| 平成 22 年 4 月 7 日 | 各小中学校入学式 | 各小中学校 | 全員 |
| 平成 22 年 4 月 9 日 | 校長・教頭歓送迎会 | | 全員 |
| 平成 22 年 4 月 29 日 | 成人式 | 創遊館 | 全員 |
| 平成 22 年 5 月 14 日 | 知事と語ろう市町村ミーティング | 創遊館 | 全員 |
| 平成 22 年 5 月 19 日 | 小学校陸上競技記録会 | 西小グラウンド | 全員 |
| 平成 22 年 6 月 5 日 | 西五百川小学校相撲大会 | 西小校庭 | 割り当て |
| 平成 22 年 7 月 9 日 | 小学校水泳競技記録会 | 町民プール | 全員 |
| 平成 22 年 7 月 30 日 | 西村山教育懇談会 | 朝日町 | 全員 |
| 平成 22 年 8 月 2 日 | 教育研究所教育講演会 | 創遊館 | |
| 平成 22 年 8 月 3 日 | 青少年健全育成町民大会 | 創遊館 | |
| 平成 22 年 8 月 26 日 | 山形県市町村教育委員大会 | 寒河江市 | 全員 |
| 平成 22 年 9 月 4 日 ・ 5 日 | 各小学校運動会 | 各小学校 | 割り当て |
| 平成 22 年 10 月 10 日 | アップル駅伝競走大会 | 町内一円 | |
| 平成 22 年 11 月 3 日 | 芸術文化祭 | 創遊館 | |
| 平成 22 年 12 月 8 日 | 女性まつり | 創遊館 | |
| 平成 22 年 12 月 18 日 | 朝日自然観スキー場開き | 自然観スキー場 | 委員長 |
| 平成 23 年 1 月 4 日 | 町辞令交付式 | 開発センター | 委員長 |
| 平成 23 年 1 月 20 日 ～21 日 | 教育委員研修 | 宮城県七ヶ浜町 | 全員 |
| 平成 23 年 2 月 2 日 | 小学校スキー記録会 | 自然観スキー場 | 全員 |
| 平成 23 年 2 月 27 日 | 生涯学習推進大会 | 創遊館 | |
| 平成 23 年 3 月 16 日 | 朝日中学校卒業式 | 朝日中学校 | 全員 |
| 平成 23 年 3 月 18 日 | 各小学校卒業式 | 各小学校 | 割り当て |

III. 施策の体系

第五次総合発展計画 基本計画の体系



IV. 外部評価委員の意見

1. 教育委員会の活動についての意見

毎月の定例会や臨時会の開催、全学校の訪問、研修会や学校事業・生涯学習事業への参加等、日頃の活動に敬意を表します。

朝日町教育振興計画が平成23年3月に策定されました。計画から具体的な施策の執行にあたりその統括と、計画にある教育委員会機能の充実を期待します。

2. 事務事業の点検・評価についての意見

概ね適切な評価をされていますが、次の項目について検討をいただき、さらに創意工夫を重ね、効率的で有効な事業推進にあたられたい。

(1) 総括

① 2回目の事業評価ということで、事業の実施状況に対しての評価が関連づけられていることや評価基準がより明確になってきている。しかし、評価基準の「適切に」と「概ね」、「十分」と「ある程度」の線引きについては、数値的に区分されていないため、あいまいになってしまう。また、この評価を継続していくと、どの事務事業も「適切に」と「十分」の評価となってしまう、評価基準そのものが意味をなさなくなってしまう恐れがある。さらに、評価の理由についても一つの事務事業にいくつもの業務があることから、総合的な評価となり毎年同じ理由となってしまう傾向がある。

このようなことから、2年間手探りで実施してきた事務事業点検・評価について、その実績を踏まえながら、さらに事務改善が図られるよう評価の方法等の見直しを検討されたい。

② 法律の制定に基づく事務事業の点検・評価であるが、朝日町教育委員会はこの評価を行うことにより、真摯に事務事業の改善・充実に努められていることに敬意を表するものである。

なお、この事務事業点検・評価を内部改革の機会と捉え、一層の事業の改善・充実に生かしていただきたい。

③ 平成23年3月に策定された朝日町教育振興計画がいよいよ施行される。目的、目標が達成されるように、年次計画を立てて具体的な取り組みを進めていただきたい。

④ 教育的な事業は性格上単年度での成果がみえにくいものが多い。短兵急に費用対効果をあげつらうことがないよう求めたい。

(2) 生涯学習関係

① 町民参加型の事業の場合は、早めの計画はもちろんのこと、実行委員会との意思疎通を十分に図られたい。

② 住民の事業に対するニーズは、多種多様多岐にわたっておりその把握は難しいと思われるが、様々な機会を活用しながら把握に努め、事業の企画運営にあたられたい。

③ 中央・西部・北部の各公民館事業について、予算額に比べ不用額の割合が大きい。事業の目的にあった計画と予算編成を図られたい。

(3) 学校教育関係

① 学校における危機管理は、校内の事件・事故だけでなく、災害、不審者、交通事故、熊の出没、放射能、教職員の不祥事、情報の漏えい等、多岐にわたっている。不慮の事件・事故に対応した危機管理マニュアルの整備を早急に図られたい。

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

| | |
|-------|------------------|
| 事務事業名 | 協働のまちづくり推進プロジェクト |
|-------|------------------|

| | | | |
|----------|---|----|--------|
| 予算 科目 | 款 | 10 | 教育費 |
| | 項 | 04 | 社会教育費 |
| | 目 | 02 | 中央公民館費 |

2. 実施計画との関係

| | | | |
|--------|--|------|-------------|
| 柱 | 地域力 | 基本方針 | 地域を支える人材の育成 |
| 施策コード | 1-A-1-1 地域を支えるリーダー、NPO等の団体育成 | | |
| プロジェクト | みんなが主役で愛する地域をつくるプロジェクト | | |
| 施策の目的 | 自主的に活動する人材、団体を育成し、行政とともに地域づくり、まちづくりを推進し、町民生活に寄与する。 | | |

3. 事業の実施状況

| |
|---|
| ○フォローアップ事業 |
| ①助け合いのまちづくりPJ（12人）19回 誰もが集い交流する「ぼかぼかサロン」試行実施（毎週火曜）。 任意団体「ぼかぼかの会」の設立（平成22年8月）。 |
| ②まちづくりコーディネーター育成PJ（7人）6回 今後の活動の方向性についての検討、高齢者の生きがいをづくり、町内観光地での物産市等。 |
| ③もてなしの心をつなぐ産業・交流PJ（「ツチャこい旅会議」）（6人）9回 今後の活動の方向性についての検討。朝日町の弁当、新たなお土産品等の企画検討。 |
| ④田舎暮らしPJ 終了 |
| ○新たな人材育成事業 検討を行うが企画できず未実施。 |

4. 予算額・決算額

（単位：千円 千円未満切上げ）

| | | | | | | | |
|-------|-------|-------|------|----|-----|-----|----|
| 当初予算額 | 1,000 | 補正予算額 | -600 | 合計 | 400 | 決算額 | 20 |
|-------|-------|-------|------|----|-----|-----|----|

5. 事業の評価

| 評価の視点（評価項目） | | 評価 | 評価の理由 |
|-------------|------------------------------|----------------|--|
| 必要性 | 社会情勢や町民のニーズに対応しているか | ○ 適切に対応している | 町の重点施策として町民の自主的な学習活動を支援し、協働のまちづくりを目指すために行う。多くの塾生は町づくりへの関心を持って学習に取り組んだ。この気持ちを大切に活かしていきたい。 |
| | | 概ね対応できている | |
| | | ほとんど対応できていない | |
| 有効率性 | 投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか | ○ 十分効果が得られている | 3つのPJでメンバーの意向に沿った活動に取り組んだ。参加者は、活動成果に満足しているようだ。ぼかぼかの会は自主的な団体を目指し、更に活動していくこととなった。 |
| | | ある程度の効果が得られている | |
| | | 効果があまり得られていない | |

6. 今後の対応策

| | | | | | |
|-------|---|------|----|-----|-----|
| 方向性 | 拡充 | ○ 継続 | 縮小 | 見直し | 休廃止 |
| 今後の対応 | 町の重点施策と位置付け、意欲のあるグループの活動のフォローアップを行ってきた。本事業では一端区切りをつけ、来年度新たな人材育成事業を行うべく検討する。 | | | | |

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

| | |
|-------|--------|
| 事務事業名 | 文化財保護費 |
|-------|--------|

| | | | |
|----------|---|----|---------|
| 予算 科目 | 款 | 10 | 教育費 |
| | 項 | 04 | 社会教育費 |
| | 目 | 01 | 社会教育総務費 |

2. 実施計画との関係

| | | | |
|--------|--------------------------------------|------|-------------|
| 柱 | 地域力 | 基本方針 | 郷土愛を育む活動の推進 |
| 施策コード | 1-A-2-1 一人一人が町を好きになる取組み | | |
| プロジェクト | みんなが主役で愛する地域をつくるプロジェクト | | |
| 施策の目的 | 町の文化財を掘り起こし、地域の宝として、守り伝える態勢を整え活用を図る。 | | |

3. 事業の実施状況

| |
|---|
| ①文化財保護委員 5 人 |
| ②町文化財保護委員会 (2 回) 5/25、12/14、研修 7/26 (大江町)、町外文化財の現況確認 9/2 2 件 (寒河江市、山形市) |
| ③指定文化財事業補助 佐竹家住宅管理費(国補助) 95 千円、佐竹家住宅修理(町単独) 100 千円 水口十一面観音堂管理費(町単独) 100 千円、大沼の浮島鳥鵲改修・地質等調査(国補助) 1,700 千円 |
| ④旧三中分校管理委託(町単独) 草刈り・雪下ろし等管理の委託 100 千円 |
| ⑤県文化財保護指導委員巡回指導 7/13 2 件、9/14 2 件 |
| ⑥名勝地ナラ枯れ対策 5/23 薬剤注入 (県森林研究研修センターの協力) |
| ⑦ハッチョウトンボ生息調査 4 回(6~7 月) |
| ⑧旧三中分校環境整備 物置解体、樹木枝払い 420 千円 |
| ⑨大隅遺跡標柱・説明板設置 876 千円 |
| ⑩国指定天然記念物カモシカ死体処理 5 頭 |
| ⑪調査研究 大沼の浮島護岸修復測量設計(町単独) 315 千円 |
| ⑫文化財保護推進 佐竹家住宅パンフ作成、朝日町読本「朝日宝物がたり」掲載、故阿部幸作氏撮影 8 ミリフィルムデジタル化 |
| ⑬民具の旧大沼分校整理保存と利活用 民具のギャラリー展示 2 回 |

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

| | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-----|----|-------|-----|-------|
| 当初予算額 | 3,519 | 補正予算額 | 250 | 合計 | 3,769 | 決算額 | 2,935 |
|-------|-------|-------|-----|----|-------|-----|-------|

5. 事業の評価

| 評価の視点 (評価項目) | | 評 価 | 評価の理由 |
|------------------|------------------------------|----------------|---|
| 必 要 性 | 社会情勢や町民のニーズに対応しているか | ○ 適切に対応している | 文化財所有者・保持者が保存保護していくための支援を行う。私たちの住む地域の大切な宝として活用を図りながら保存継承していく。 |
| | | 概ね対応できている | |
| | | ほとんど対応できていない | |
| 有 効 率 性 | 投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか | ○ 十分効果が得られている | 所有者への指導や管理費の補助、管理委託により文化財の適切な管理の支援と啓発普及活動を実施している。 |
| | | ある程度の効果が得られている | |
| | | 効果があまり得られていない | |

6. 今後の対応策

| | |
|-------|--|
| 方向性 | ○ 拡充 継続 縮小 見直し 休廃止 |
| 今後の対応 | 少子高齢化による管理困難や現況など文化財の実態を再調査するとともに長期計画を策定していく。町史編さん専門員 2 人は文化財調査員を兼務し、文化財の調査も含めた活動を進める。大沼の浮島は、国庫補助を受けながら計画的に改修事業を進める。 |

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

| | |
|-------|--------|
| 事務事業名 | 町史編さん費 |
|-------|--------|

| | | | |
|----------|---|----|---------|
| 予算 科目 | 款 | 10 | 教育費 |
| | 項 | 04 | 社会教育費 |
| | 目 | 01 | 社会教育総務費 |

2. 実施計画との関係

| | | | |
|--------|------------------------|------|-------------|
| 柱 | 地域力 | 基本方針 | 郷土愛を育む活動の推進 |
| 施策コード | 1-A-2-1 | | |
| | 一人一人が町を好きになる取組み | | |
| プロジェクト | みんなが主役で愛する地域をつくるプロジェクト | | |
| 施策の目的 | 町の歴史を正しく理解し、後世に伝える。 | | |

3. 事業の実施状況

| |
|--|
| <p>①町史編さん専門員 2人 資料収集、古文書解読、研修</p> <p>②朝日町史下巻の発刊(700部) 上巻 51冊、下巻 162冊販売</p> |
|--|

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

| | | | | | | | |
|-------|-------|-------|----|----|-------|-----|-------|
| 当初予算額 | 2,643 | 補正予算額 | 55 | 合計 | 2,698 | 決算額 | 2,598 |
|-------|-------|-------|----|----|-------|-----|-------|

5. 事業の評価

| 評価の視点(評価項目) | | 評価 | 評価の理由 |
|-------------|------------------------------|----------------|---|
| 必要性 | 社会情勢や町民のニーズに対応しているか | ○ 適切に対応している | 先人の歩んできた道を学び、これからのまちづくりや郷土を愛する心を育てるため、町の歴史を記録保存しまちづくりに生かしていく。 |
| | | 概ね対応できている | |
| | | ほとんど対応できていない | |
| 有効性 | 投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか | ○ 十分効果が得られている | 町の歴史を記録保存し、後世に伝える朝日町史上・下巻を発行し販売した。 民具を整理しリストを作成、展示を行い利活用できた。 |
| | | ある程度の効果が得られている | |
| | | 効果があまり得られていない | |

6. 今後の対応策

| | | | | | |
|-------|---|------|----|-----|-----|
| 方向性 | 拡充 | ○ 継続 | 縮小 | 見直し | 休廃止 |
| 今後の対応 | 朝日町史(上下巻)を教材にして、町の歴史を学習し誇りや地域づくりにつなげる。また、未だに埋没している歴史資料の発見や生活文化なども含めた調査や解読を進め、町の歴史を更に明らかにしていく。 | | | | |

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

| | |
|-------|----------|
| 事務事業名 | 中央公民館事業費 |
|-------|----------|

| | | | |
|----------|---|----|--------|
| 予算 科目 | 款 | 10 | 教育費 |
| | 項 | 04 | 社会教育費 |
| | 目 | 02 | 中央公民館費 |

2. 実施計画との関係

| | | | |
|--------|---|------|-------------|
| 柱 | 地域力 | 基本方針 | 地域を支える人材の育成 |
| 施策コード | 1-A-2-1 | | |
| | 一人一人が町を好きになる取組み | | |
| プロジェクト | みんなが主役で愛する地域をつくるプロジェクト | | |
| 施策の目的 | 町民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。 | | |

3. 事業の実施状況

| |
|--|
| ①中央・中部公民館運営審議会 委員5人(男3人、女2人) 会議1回、震災で1回中止 |
| ②家庭教育…あさひ家庭教育学級 4回499人、やまがた子育て講座 3回257人 |
| ③青少年教育…寺子屋事業 1回12人・成人式 81人・ボランティア育成(JORKER 寒河江青年会議所第43回児童文化賞理事長賞受賞)、中部キッズクラブ 3回50人 |
| ④女性教育…文化教室 11教室*年9回、女性まつり 300人、いきいき講座等 2回115人、西村山地区理事研修 |
| ⑤成人教育…子ども会育成会研修 1回、生涯学習推進大会(学習活動発表3団体、ひろすけ童話賞受賞記念最上一平講演)380人、英会話教室 月2回受講者15人、自治公民館館長主事等研修・中央36人・中部18人、館報づくり奨励15館発行、自治公民館活動支援4館 |
| ⑥高齢者教育…各大学代表者会議震災で中止、寿大学4回437人 |
| ⑦視聴覚教育…巡回貸出・映写 |

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

| | | | | | | | |
|-------|-------|-------|---|----|-------|-----|-------|
| 当初予算額 | 2,071 | 補正予算額 | 0 | 合計 | 2,071 | 決算額 | 1,480 |
|-------|-------|-------|---|----|-------|-----|-------|

5. 事業の評価

| 評価の視点(評価項目) | | 評価 | 評価の理由 |
|-------------|------------------------------|------------------|---|
| 必要性 | 社会情勢や町民のニーズに対応しているか | ○ 適切に対応している | 世代毎に必要な学習や時代の要請にあう事業を展開し、町民のニーズも把握し、地域の特性を活かしながらそれぞれの目的に向けた取り組みを行う。 |
| | | 概ね対応できている | |
| | | ほとんど対応できていない | |
| 有効率性 | 投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか | 十分効果が得られている | 英会話教室、お寺のまるごと一日体験塾、女性文化講座、ボランティア育成など地域の人材や特性を活かした取り組みができた。マンネリ化の傾向があるため、魅力ある事業となるよう創意と工夫が必要である。 |
| | | ○ ある程度の効果が得られている | |
| | | 効果があまり得られていない | |

6. 今後の対応策

| | |
|-------|--|
| 方向性 | 拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止 |
| 今後の対応 | 各世代に必要なもの、時代にあった魅力のある事業となるよう創意と工夫に努めていく。 朝日町婦人会が解散の危機にあり、婦人会組織の再構築が課題である。 特に20代～50代を対象とした事業を充実させる必要がある(検討中)。 講師都合によりお寺の一日体験塾が終わり少年事業の見直しが必要である。 |

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課西部公民館

| | |
|-------|----------|
| 事務事業名 | 西部公民館事業費 |
|-------|----------|

| | | | |
|----------|---|----|--------|
| 予算 科目 | 款 | 10 | 教育費 |
| | 項 | 04 | 社会教育費 |
| | 目 | 03 | 西部公民館費 |

2. 実施計画との関係

| | | | |
|--------|---|------|-------------|
| 柱 | 地域力 | 基本方針 | 地域を支える人材の育成 |
| 施策コード | 1-A-2-1 | | |
| | 一人一人が町を好きになる取組み | | |
| プロジェクト | みんなが主役で愛する地域をつくるプロジェクト | | |
| 施策の目的 | 町民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。 | | |

3. 事業の実施状況

| | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・公民館運営審議会(委員5人) ・あさひ家庭教育学級(西部地区) 1回 58人 ・青年教室 4回 155人 ・自治公民館長主事研修会 1回 36人 ・地区スポーツフェスティバル 西部公民館周辺 649人参加 ソフトボール、グラウンドゴルフ、インディアカ、ソフトバレーボール、輪投げ ・地区グラウンドゴルフ大会 1回 34人 ・高齢者スポーツ教室 1回 55人 ・第46回町芸術文化祭展示発表会 1回 350人(来場者) ・「西部公民館だより」発行 5回、 ・西部区長会や子ども会育成協議会など8団体の事務局担当 | <ul style="list-style-type: none"> ・いもがわ少年教室 4回 46人 ・子ども会交流事業 1回 69人 ・楽笑楽生こうざ(女性) 6回 114人 ・成人趣味講座 2講座 35人 |
|--|---|

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

| | | | | | | | |
|-------|-----|-------|-----|----|-----|-----|-----|
| 当初予算額 | 463 | 補正予算額 | -80 | 合計 | 383 | 決算額 | 258 |
|-------|-----|-------|-----|----|-----|-----|-----|

5. 事業の評価

| 評価の視点(評価項目) | | 評価 | 評価の理由 |
|-------------|------------------------------|------------------|--|
| 必要性 | 社会情勢や町民のニーズに対応しているか | ○ 適切に対応している | 青年教室や「楽笑楽生こうざ」など、創作と参加者同士の語らいが楽しいと好評を得ている。 |
| | | 概ね対応できている | |
| | | ほとんど対応できていない | |
| 有効率性 | 投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか | 十分効果が得られている | 青年教室など、受講者による運営委員会を設けて講座内容の計画を話し合い実施している。ただ、参加者の広がりや点で、運営委員会方式がいいのか検討の必要がある。 |
| | | ○ ある程度の効果が得られている | |
| | | 効果があまり得られていない | |

6. 今後の対応策

| | | | | | |
|-------|--|------|----|-----|-----|
| 方向性 | 拡充 | ○ 継続 | 縮小 | 見直し | 休廃止 |
| 今後の対応 | 教室や講座の内容を見直しながらも継続していく。参加者の拡大方策の検討が必要である。地区最大のイベント、スポーツフェスティバルは継続実施し地区民の交流を促進していく。 | | | | |

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課北部公民館

| | |
|-------|----------|
| 事務事業名 | 北部公民館事業費 |
|-------|----------|

| | | | |
|----------|---|----|--------|
| 予算 科目 | 款 | 10 | 教育費 |
| | 項 | 04 | 社会教育費 |
| | 目 | 04 | 北部公民館費 |

2. 実施計画との関係

| | | | |
|--------|---|------|-------------|
| 柱 | 地域力 | 基本方針 | 地域を支える人材の育成 |
| 施策コード | 1-A-2-1 一人一人が町を好きになる取組み | | |
| プロジェクト | みんなが主役で愛する地域をつくるプロジェクト | | |
| 施策の目的 | 町民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。 | | |

3. 事業の実施状況

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・公民館運営審議会(委員5人) 会議2回 ・あさひ家庭教育学級 北部地区開催 1回 園児・保護者56人参加 ・少年教室「子ども育成会事業」(交通安全教室・グラウンドゴルフ教室)2回 延べ122人参加 ・少年教室「ドキドキ探検隊」 隊員16人、達人クラブ27人 里山探検・化石採り・カヌー・小朝日岳登山・夏、冬キャンプ等 10回 延べ隊員113人、延べ達人77人参加 ・高齢者学級「睦大学」 4回 401人参加 ・一般教室「パソコン教室」2/21～2/24 4日間 36人参加 ・成人教室「蕎麦打ち教室」 4回 20人参加 ・女性教室「健康体操」 1回 45人参加 ・自治公民館連絡協議会総会・館長、主事研修会 28人参加 ・第6回北部地区レクリエーション大会 9/12 秋葉山交遊館周辺、秋葉山グラウンド他 グラウンドゴルフ, バレーボール, ビーチボールバレー, 輪投げ 558人参加 ・第46回朝日町芸術文化祭(秋葉山交遊館会場) 577人参加・来場 |
|---|

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

| | | | | | | | |
|-------|-----|-------|---|----|-----|-----|-----|
| 当初予算額 | 362 | 補正予算額 | 0 | 合計 | 362 | 決算額 | 163 |
|-------|-----|-------|---|----|-----|-----|-----|

5. 事業の評価

| 評価の視点(評価項目) | | 評価 | 評価の理由 |
|-------------|------------------------------|------------------|--|
| 必要性 | 社会情勢や町民のニーズに対応しているか | ○ 適切に対応している | 地域に合った事業を探しながら、また、世代毎に必要な学習や時代の要請にあう教室等を開催し、町民のニーズに答えられるよう目的達成に向けた取組みを行う。 |
| | | 概ね対応できている | |
| | | ほとんど対応できていない | |
| 有効率性 | 投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか | 十分効果が得られている | 講座・教室によって好評を得ているものもあるが、全体的に参加者の減少も見られる。講座開催を待ち望んでいる町民もあり、成果は得ている。内容に工夫を凝らしながら事業に取組み、参加人数の少ない講座は見直しも必要となっている。 |
| | | ○ ある程度の効果が得られている | |
| | | 効果があまり得られていない | |

6. 今後の対応策

| | |
|-------|--|
| 方向性 | 拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止 |
| 今後の対応 | 講座・教室の内容を見直しながら、指導者を育て自主的な学習活動ができるように住民と共に取り組んでいく。 |

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

| | |
|-------|-------|
| 事務事業名 | 文化振興費 |
|-------|-------|

| | | | |
|----------|---|----|-------|
| 予算 科目 | 款 | 10 | 教育費 |
| | 項 | 04 | 社会教育費 |
| | 目 | 06 | 文化振興費 |

2. 実施計画との関係

| | | | |
|--------|---------------------------|------|-------------|
| 柱 | 地域力 | 基本方針 | 地域を支える人材の育成 |
| 施策コード | 1-A-2-1 | | |
| | 一人一人が町を好きになる取組み | | |
| プロジェクト | みんなが主役で愛する地域をつくるプロジェクト | | |
| 施策の目的 | 地域を活かした朝日町らしい芸術文化活動がたかまる。 | | |

3. 事業の実施状況

| |
|---|
| ①町芸術文化協議会支援事業（37団体、3個人） 11/1～3 第46回芸術文化祭、各団体の支援事業 |
| ②ホール事業（創遊館開館10周年記念事業としての取組み） 5/30 四代目江戸屋猫八襲名披露独演会 327人 9/26 人権啓発心のふれあいコンサート 400人 11/28 坂入姉妹おはなし朗読コンサート 100人 2/13 今井倭子とともに「響け未来の風のせて」 445人 |
| ③オペラ入門講座 中止 |
| ④創遊館ギャラリー事業 展示9回 |

4. 予算額・決算額

（単位：千円 千円未満切上げ）

| | | | | | | | |
|-------|-------|-------|---|----|-------|-----|-------|
| 当初予算額 | 3,229 | 補正予算額 | 0 | 合計 | 3,229 | 決算額 | 1,974 |
|-------|-------|-------|---|----|-------|-----|-------|

5. 事業の評価

| 評価の視点（評価項目） | | 評価 | 評価の理由 |
|-------------|------------------------------|----------------|--|
| 必要性 | 社会情勢や町民のニーズに対応しているか | 適切に対応している | 町民の自発的な芸術文化活動の環境を充実させるための支援や創遊館ホール機能を生かし本格的な芸術鑑賞等の機会を提供していく。 |
| | | ○ 概ね対応できている | |
| | | ほとんど対応できていない | |
| 有効性 | 投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか | ○ 十分効果が得られている | 創遊館10周年で町民を巻き込んだホール事業は盛況であり、来場者からは好評を得た。 ギャラリー展示は、町民発表の場として活用された。 |
| | | ある程度の効果が得られている | |
| | | 効果があまり得られていない | |

6. 今後の対応策

| | |
|-------|--|
| 方向性 | 拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止 |
| 今後の対応 | ギャラリーのより一層の利活用を図る。ホール事業に対する町民のニーズを把握し事業計画立案の早めの対応が必要である。ひめさゆり俳句発表と表彰を芸術文化祭でできないか検討する。芸文協会員が減少しており芸文活動を活発化するための支援を考える必要がある。 |

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

| | |
|-------|---------|
| 事務事業名 | 社会教育総務費 |
|-------|---------|

| | | | |
|----------|---|----|---------|
| 予算 科目 | 款 | 10 | 教育費 |
| | 項 | 04 | 社会教育費 |
| | 目 | 01 | 社会教育総務費 |

2. 実施計画との関係

| | | | |
|--------|------------------------|------|-------------|
| 柱 | 地域力 | 基本方針 | 地域を支える人材の育成 |
| 施策コード | 1-A-2-2 | | |
| | 集い学び合う交流環境づくり | | |
| プロジェクト | みんなが主役で愛する地域をつくるプロジェクト | | |
| 施策の目的 | 生涯学習の振興を図る。 | | |

3. 事業の実施状況

| |
|---|
| <p>①社会教育委員 7人（男4人、女3人）</p> <p>②社会教育委員会の開催（1回）5/28、3/震災で中止</p> <p>③第1回山形県社会教育研究大会参加（上市市）10/22（8人）</p> <p>④社会教育機関負担金支出 …西視協、社教連、県社教大会、山響</p> <p>⑤社会教育団体活動補助金支出 …各地区子ども会連絡協議会・中 75千円・西 62千円・北 62千円、町連合婦人会 45千円</p> |
|---|

4. 予算額・決算額

（単位：千円 千円未満切上げ）

| | | | | | | | |
|-------|-----|-------|---|----|-----|-----|-----|
| 当初予算額 | 871 | 補正予算額 | 0 | 合計 | 871 | 決算額 | 754 |
|-------|-----|-------|---|----|-----|-----|-----|

5. 事業の評価

| 評価の視点（評価項目） | | 評価 | 評価の理由 |
|-------------|------------------------------|----------------|--|
| 必要性 | 社会情勢や町民のニーズに対応しているか | ○ 適切に対応している | 委員研修や各機関・団体への助成などを行い生涯学習の振興を図る。 |
| | | 概ね対応できている | |
| | | ほとんど対応できていない | |
| 有効率性 | 投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか | ○ 十分効果が得られている | 社会教育委員会の開催、負担金、社会教育団体活動補助金などについて適切に執行した。 |
| | | ある程度の効果が得られている | |
| | | 効果があまり得られていない | |

6. 今後の対応策

| | |
|-------|---|
| 方向性 | 拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止 |
| 今後の対応 | 西村山視聴覚教育協議会のあり方について見直しを一市四町で協議を進める。会員減などで連合婦人会活動が縮小しており、活動支援のため補助金アップを検討する。 |

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

| | |
|-------|------------|
| 事務事業名 | 自治公民館整備事業費 |
|-------|------------|

| | | | |
|----------|---|----|--------|
| 予算 科目 | 款 | 10 | 教育費 |
| | 項 | 04 | 社会教育費 |
| | 目 | 02 | 中央公民館費 |

2. 実施計画との関係

| | | | |
|--------|--------------------------|------|-------------|
| 柱 | 地域力 | 基本方針 | 地域を支える人材の育成 |
| 施策コード | 1-A-2-2 集い学び合う交流環境づくり | | |
| プロジェクト | みんなが主役で愛する地域をつくるプロジェクト | | |
| 施策の目的 | 生涯学習の振興を図る。 | | |

3. 事業の実施状況

| | |
|--|--|
| ①前田沢コミュニティセンター新築工事 事業費 31,416 千円 補助金 21,997 千円 設計：村山一級建築士事務所 施工：大東建設(株) | ・工期：H22.9.13～H23.2.7 床面積 160.65 m ² ・監理：安孫子建築事務所 |
| ②松程公民館外壁改修 事業費 2,237 千円 補助金 670 千円 施工：鈴木建築 | ・工期：H22.8.1～9.25 外壁サイディングに 180.11 m ² |
| ③大谷三公民館屋根改修 事業費 702 千円 補助金 210 千円 施工：長岡建築、柏倉板金 | ・工期：H22.10.19～10.23 改修面積 120.62 m ² |
| ④朝日町自治公民館建築事業補助交付規定の改定 平成 23 年度より適用 | |

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

| | | | | | | | |
|-------|--------|-------|-----|----|--------|-----|--------|
| 当初予算額 | 31,736 | 補正予算額 | 920 | 合計 | 32,656 | 決算額 | 32,296 |
|-------|--------|-------|-----|----|--------|-----|--------|

5. 事業の評価

| 評価の視点(評価項目) | | 評価 | 評価の理由 |
|-------------|------------------------------|----------------|---|
| 必要性 | 社会情勢や町民のニーズに対応しているか | ○ 適切に対応している | 自治公民館は、住民にとって生涯学習や地域づくりを行う最も身近な拠点施設。施設整備の支援を行う。 |
| | | 概ね対応できている | |
| | | ほとんど対応できていない | |
| 有効率性 | 投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか | ○ 十分効果が得られている | 前田沢区民の快適な学習活動の場づくりに貢献できた。予定に無かった2館の改修支援を行い学習環境の整備ができた。 補助金交付規程を見直し、時代に合った規程となった。 |
| | | ある程度の効果が得られている | |
| | | 効果があまり得られていない | |

6. 今後の対応策

| | |
|-------|--|
| 方向性 | 拡充 ○ 継続 縮小 見直し 廃止 |
| 今後の対応 | 昭和時代に建築された建物が修繕の時期にきており、改訂した町自治公民館建築事業補助金交付規程に基づき自治公民館の整備支援を行っていく。 要望のあった水本公民館屋根改修工事に対して、整備支援を計画する。 |

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

| | |
|-------|------|
| 事務事業名 | 図書館費 |
|-------|------|

| | | | |
|----------|---|----|-------|
| 予算 科目 | 款 | 10 | 教育費 |
| | 項 | 04 | 社会教育費 |
| | 目 | 05 | 図書館費 |

2. 実施計画との関係

| | | | |
|--------|--|------|-------------|
| 柱 | 地域力 | 基本方針 | 地域を支える人材の育成 |
| 施策コード | 1-A-2-2 | | |
| | 集い学び合う交流環境づくり | | |
| プロジェクト | みんなが主役で愛する地域をつくるプロジェクト | | |
| 施策の目的 | 町民が学習や生活に役立つ情報や知識を得ることができ、楽しい生活の場とするため図書館経営を行なう。 | | |

3. 事業の実施状況

| |
|---|
| ①町立図書館管理運営 創遊会(4人)へ業務委託 委託料 3,305千円 ・貸出冊数 19,510冊 (利用登録者 3,514人、うち町外 388人) ・1日平均貸出 65冊、1日平均利用者数 21人 |
| ②図書資料収集 購入冊数 1,004冊(雑誌含む) 購入金額 1,199千円 (蔵書数 36,369冊) |
| ③あさひまち図書館まつり 11/27 昔ばなしを聞こう&読み聞かせ講座 25人 11/28 坂入姉妹おはなし朗読コンサート 100人、古本プレゼント 286冊 69人 12/4 クリスマス子どものつどい(人形劇、ボードビル、大道芸) 100人 |
| ④蔵書点検 10/19~23 |
| ⑤移動図書事業(大谷小) 5月~2月(月2回×9月)、利用児童数 93人 |
| ⑥団体貸出 りんごっこクラブ 年間11回 |
| ⑦ブックスタート事業 年間11回(健康福祉課と連携) |
| ⑧おはなし会事業 おはなし会「ぶなの実」と共催 10回開催(第2土曜) |

4. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

| | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|----|-------|-----|-------|
| 当初予算額 | 5,415 | 補正予算額 | 1,200 | 合計 | 6,615 | 決算額 | 5,256 |
|-------|-------|-------|-------|----|-------|-----|-------|

※平成23年度への繰越明許額 1,200千円。

5. 事業の評価

| 評価の視点(評価項目) | | 評価 | 評価の理由 |
|-------------|------------------------------|----------------|---|
| 必要性 | 社会情勢や町民のニーズに対応しているか | ○ 適切に対応している | 町民が学習や生活に役立つ知識を得ることができ、潤いのある生活の場となるよう支援する。 |
| | | 概ね対応できている | |
| | | ほとんど対応できていない | |
| 有効性 | 投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか | ○ 十分効果が得られている | 第1回図書館まつりを開催し、利用拡大のPRと図書館に親しむきっかけを作る場となった。 子育て支援図書を充実し、子育てを支援した。外部貸出で利用者を増やすことや子どもに本への興味を持たせることに努めた。 |
| | | ある程度の効果が得られている | |
| | | 効果があまり得られていない | |

6. 今後の対応策

| | |
|-------|---|
| 方向性 | 拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止 |
| 今後の対応 | 図書館の利用者数を増やしていくことや本が好きな人を増やす活動を進める。図書購入のあり方について検討していく。図書館まつりを継続開催し、利用者増につなげていく。 |

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

| | |
|-------|--------|
| 事務事業名 | 創遊館管理費 |
|-------|--------|

| | | | |
|----------|---|----|-------|
| 予算 科目 | 款 | 10 | 教育費 |
| | 項 | 04 | 社会教育費 |
| | 目 | 07 | 創遊館費 |

2. 実施計画との関係

| | | | |
|--------|--------------------------|------|-------------|
| 柱 | 地域力 | 基本方針 | 地域を支える人材の育成 |
| 施策コード | 1-A-2-2 集い学び合う交流環境づくり | | |
| プロジェクト | みんなが主役で愛する地域をつくるプロジェクト | | |
| 施策の目的 | 町民が安全で利用しやすい施設の環境整備を図る。 | | |

3. 事業の実施状況

| | | | |
|------------------------------------|----------------|---------|------------------------|
| ①管理・各種設備・機器等の委託 | | | |
| 夜間休日管理 | シルバー人材センター(3人) | 1,960千円 | ・清掃業務 山形ビルサービス 2,776千円 |
| エレベーター | エスコ | 233千円 | ・空調設備 弘栄設備 1,523千円 |
| ホール管理 | ADAPT | 1,416千円 | ・自動ドア ナブコシステム 113千円 |
| 舞台装置 | キャバシステムマシナリー | 473千円 | ほか |
| ②創遊館内外の環境整備など | | | |
| 地下タンクオイル油面計修理 | | 378千円 | ・館内ソファ一張替修繕 252千円 |
| 排水管設置工事(7/2豪雨) | | 126千円 | ・西公法面崩壊土砂排除工事 95千円 |
| 図書館屋根排水改修 | | 53千円 | ・資料室LAN配線工事 32千円 |
| ピンク電話切換(在庫品使用) | | 7千円 | |
| ③創遊館の貸し出し 利用団体 1,327件、利用人数 30,033人 | | | |

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

| | | | | | | | |
|-------|--------|-------|---|----|--------|-----|--------|
| 当初予算額 | 21,235 | 補正予算額 | 0 | 合計 | 21,235 | 決算額 | 18,375 |
|-------|--------|-------|---|----|--------|-----|--------|

5. 事業の評価

| 評価の視点(評価項目) | | 評価 | 評価の理由 |
|-------------|------------------------------|----------------|---|
| 必要性 | 社会情勢や町民のニーズに対応しているか | ○ 適切に対応している | 身近な生涯学習施設として、町民が利用しやすいように施設管理を行う。 |
| | | 概ね対応できている | |
| | | ほとんど対応できていない | |
| 有効率性 | 投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか | ○ 十分効果が得られている | 夜間や祝祭日の管理や設備保守等業務委託を行い、利用しやすい環境づくりと適切な管理業務を行うことができ、町民の学習意欲に応える安全で利用しやすい施設の提供ができた。 |
| | | ある程度の効果が得られている | |
| | | 効果があまり得られていない | |

6. 今後の対応策

| | |
|-------|--|
| 方向性 | 拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止 |
| 今後の対応 | 築10年以上経過し、機械器具等の不具合が出てきている。適切な管理を行い安全で利用しやすい学習環境の維持に努める。社会教育教材の充実に努める。 |

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課西部公民館

| | |
|-------|----------|
| 事務事業名 | 西部公民館管理費 |
|-------|----------|

| | | | |
|----------|---|----|--------|
| 予算 科目 | 款 | 10 | 教育費 |
| | 項 | 04 | 社会教育費 |
| | 目 | 03 | 西部公民館費 |

2. 実施計画との関係

| | | | |
|--------|--------------------------|------|-------------|
| 柱 | 地域力 | 基本方針 | 地域を支える人材の育成 |
| 施策コード | 1-A-2-2 集い学び合う交流環境づくり | | |
| プロジェクト | みんなが主役で愛する地域をつくるプロジェクト | | |
| 施策の目的 | 町民が安全で利用しやすい施設の環境整備を図る。 | | |

3. 事業の実施状況

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 西部公民館（平成4年2月完成）、健康増進センター（昭和60年8月完成）、西部地区総合運動場（グラウンド：昭和62年3月完成）、熊ノ山農村公園（見晴らしの丘：平成15年3月完成）、西部地区コミュニティ広場（旧公民館跡地：平成7年11月完成）の5施設の管理 屋内施設：随時の清掃、維持 屋外施設：芝刈りや除草等維持管理。雪囲いや雑草地の草刈り作業の一部を、シルバ人材センターに委託している。熊ノ山農村公園の芝生は、グラウンドゴルフを楽しむ地元愛好会の皆さんから草取り作業など奉仕活動いただいている。 年間利用者：西部公民館 3,101人、健康増進センター 3,717人、西部地区総合運動場 3,044人、熊ノ山農村公園（グラウンドゴルフ場） 6,373人、計 16,235人 |
|--|

4. 予算額・決算額

（単位：千円 千円未満切上げ）

| | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-----|----|-------|-----|-------|
| 当初予算額 | 2,361 | 補正予算額 | 727 | 合計 | 3,088 | 決算額 | 2,980 |
|-------|-------|-------|-----|----|-------|-----|-------|

5. 事業の評価

| 評価の視点（評価項目） | | 評価 | 評価の理由 |
|-------------|------------------------------|----------------|--|
| 必要性 | 社会情勢や町民のニーズに対応しているか | ○ 適切に対応している | 西部地区の生涯学習拠点施設として、スポーツや学習で地区民が利用しやすいように施設管理を行う。 |
| | | 概ね対応できている | |
| | | ほとんど対応できていない | |
| 有効性 | 投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか | ○ 十分効果が得られている | 地区民や関係団体の自発的な奉仕活動による維持管理の協力を頂きながら、適切な管理業務が行えた。 特に、施設の特徴となっている農村公園グラウンドゴルフ場の利用が多かった。 |
| | | ある程度の効果が得られている | |
| | | 効果があまり得られていない | |

6. 今後の対応策

| | |
|-------|--|
| 方向性 | 拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止 |
| 今後の対応 | 施設の老朽化に伴い、緊急性のあるものから計画的に改修整備し安全安心な利用しやすい環境をつくっていく。 |

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課北部公民館

| | |
|-------|----------|
| 事務事業名 | 北部公民館管理費 |
|-------|----------|

| | | | |
|----------|---|----|--------|
| 予算 科目 | 款 | 10 | 教育費 |
| | 項 | 04 | 社会教育費 |
| | 目 | 04 | 北部公民館費 |

2. 実施計画との関係

| | | | |
|--------|--------------------------|------|-------------|
| 柱 | 地域力 | 基本方針 | 地域を支える人材の育成 |
| 施策コード | 1-A-2-2 集い学び合う交流環境づくり | | |
| プロジェクト | みんなが主役で愛する地域をつくるプロジェクト | | |
| 施策の目的 | 町民が安全で利用しやすい施設の環境整備を図る。 | | |

3. 事業の実施状況

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・秋葉山交遊館、北部体育館、大谷地区運動広場の除草作業 2回 シルバー人材センターに委託 ・その他の除草作業・管理作業は職員等で実施 ・施設の雪囲い及び雪囲いはずしもシルバー人材センターに委託 ・秋葉山交遊館：濡れ縁の修理、非常口誘導灯修理 ・北部体育館：フロアの修理 ・秋葉山交遊館芝生広場の芝生刈り：ボランティアにより実施 ・随時、遊具の点検、ハチの巣の撤去 ・利用状況：秋葉山交遊館・ときめき体験館 7,955人、北部体育館 3,082人、秋葉山グラウンド 2,890人、多目的広場 3,022人、計 16,949人 |
|--|

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

| | | | | | | | |
|-------|-------|-------|---|----|-------|-----|-------|
| 当初予算額 | 4,250 | 補正予算額 | 0 | 合計 | 4,250 | 決算額 | 2,821 |
|-------|-------|-------|---|----|-------|-----|-------|

5. 事業の評価

| 評価の視点(評価項目) | | 評価 | 評価の理由 |
|-------------|------------------------------|----------------|--|
| 必要性 | 社会情勢や町民のニーズに対応しているか | ○ 適切に対応している | 北部地区の生涯学習拠点施設として、スポーツや学習で地区民が利用しやすいように施設管理を行う。 |
| | | 概ね対応できている | |
| | | ほとんど対応できていない | |
| 有効性 | 投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか | ○ 十分効果が得られている | シルバー人材センターへの委託等や、一部ボランティアによる協力を頂きながら、広い施設の適切な管理が行えた。 |
| | | ある程度の効果が得られている | |
| | | 効果があまり得られていない | |

6. 今後の対応策

| | |
|-------|--|
| 方向性 | 拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止 |
| 今後の対応 | 施設の老朽化に伴い、緊急性のあるものから計画的に改修整備し安全安心な利用しやすい環境をつくっていく。 |

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

| | |
|-------|---------|
| 事務事業名 | 保健体育総務費 |
|-------|---------|

| | | | |
|----------|---|----|---------|
| 予算 科目 | 款 | 10 | 教育費 |
| | 項 | 05 | 保健体育費 |
| | 目 | 01 | 保健体育総務費 |

2. 実施計画との関係

| | | | |
|--------|--------------------------|------|-------------|
| 柱 | 地域力 | 基本方針 | 地域を支える人材の育成 |
| 施策コード | 1-A-2-2 集い学び合う交流環境づくり | | |
| プロジェクト | みんなが主役で愛する地域をつくるプロジェクト | | |
| 施策の目的 | 町民が生涯スポーツ活動に取り組める。 | | |

3. 事業の実施状況

| |
|--|
| <p>①体育指導委員活動(委員8人)</p> <p>②町民登山、町民グラウンドゴルフ大会など町体育協会主催各種大会への支援</p> <p>③第27回アップル町民駅伝 13チーム274人、1位宮宿A、2位大谷風、3位中沢玉ノ井</p> <p>④県縦断駅伝ほか各駅伝競走大会の支援 ジュニア駅伝ユニフォーム購入 428千円</p> <p>⑤各種スポーツ大会開催等の情報提供</p> |
|--|

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

| | | | | | | | |
|-------|-------|-------|---|----|-------|-----|-------|
| 当初予算額 | 3,093 | 補正予算額 | 0 | 合計 | 3,093 | 決算額 | 2,680 |
|-------|-------|-------|---|----|-------|-----|-------|

5. 事業の評価

| 評価の視点(評価項目) | | 評価 | 評価の理由 |
|-------------|------------------------------|----------------|---|
| 必要性 | 社会情勢や町民のニーズに対応しているか | ○ 適切に対応している | 町民が生涯スポーツ活動に取り組める環境を整える。 |
| | | 概ね対応できている | |
| | | ほとんど対応できていない | |
| 有効性 | 投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか | ○ 十分効果が得られている | 体育指導委員を配置し、体協主催の各種大会、スポ少活動、総合型地域スポーツクラブ運営支援を行い、町民一人1スポーツ、生涯スポーツの町づくりに取り組めた。 |
| | | ある程度の効果が得られている | |
| | | 効果があまり得られていない | |

6. 今後の対応策

| | |
|-------|---|
| 方向性 | 拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止 |
| 今後の対応 | 一人1スポーツ、生涯スポーツで健康な人づくりを目指した取り組みを継続して行う。 |

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

| | |
|-------|---------|
| 事務事業名 | 体育施設管理費 |
|-------|---------|

| | | | |
|----------|---|----|-------|
| 予算 科目 | 款 | 10 | 教育費 |
| | 項 | 05 | 保健体育費 |
| | 目 | 02 | 体育施設費 |

2. 実施計画との関係

| | | | |
|--------|--------------------------|------|-------------|
| 柱 | 地域力 | 基本方針 | 地域を支える人材の育成 |
| 施策コード | 1-A-2-2 集い学び合う交流環境づくり | | |
| プロジェクト | みんなが主役で愛する地域をつくるプロジェクト | | |
| 施策の目的 | 町民が利用しやすい施設運営をする。 | | |

3. 事業の実施状況

| |
|--|
| ①町民体育館の管理委託 シルバー人材センター（管理人4人） 1,377千円 利用者 6,459人 |
| ②緑が丘公園町民プール管理業務委託 東京美装(株) 1,523千円 オープン期間 7/17～8/22 利用数 2,066人 |
| ③夜間照明等（管理業務委託） 利用日数 38日 |
| ④施設維持の工事や修繕 町体天井照明漏電修理 305千円 ・町体バスケットゴール修理 184千円 プール電動弁取付修理 273千円 ・町民武道館畳表替え 499千円 |
| ⑤社体教材（備品）の整備 スーパーメガホン購入 144千円 |

4. 予算額・決算額

（単位：千円 千円未満切上げ）

| | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|----|--------|-----|-------|
| 当初予算額 | 8,141 | 補正予算額 | 3,692 | 合計 | 11,833 | 決算額 | 8,327 |
|-------|-------|-------|-------|----|--------|-----|-------|

※平成23年度への繰越明許額 2,430千円。

5. 事業の評価

| 評価の視点（評価項目） | | 評価 | 評価の理由 |
|-------------|------------------------------|----------------|--|
| 必要性 | 社会情勢や町民のニーズに対応しているか | ○ 適切に対応している | 身近な生涯スポーツ施設として、町民が利用しやすいように施設管理を行う。 |
| | | 概ね対応できている | |
| | | ほとんど対応できていない | |
| 有効率性 | 投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか | ○ 十分効果が得られている | 町民体育館の管理、町民プール管理と監視を業務委託し、適切な管理業務が行えた。 |
| | | ある程度の効果が得られている | |
| | | 効果があまり得られていない | |

6. 今後の対応策

| | |
|-------|--|
| 方向性 | 拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止 |
| 今後の対応 | 老朽化への対応。町民体育館の耐震調査が必要である。 立木・水本・送橋・上郷体育館の適切な管理と利用率の向上。 町民プールは1ヶ月のみのオープンであり、今後のあり方について検討を要する。 |

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

| | |
|-------|-------------|
| 事務事業名 | スポーツ振興基金運営費 |
|-------|-------------|

| | | | |
|----------|---|----|-------------|
| 予算 科目 | 款 | 10 | 教育費 |
| | 項 | 05 | 保健体育費 |
| | 目 | 03 | スポーツ振興基金運営費 |

2. 実施計画との関係

| | | | |
|--------|--------------------------|------|-------------|
| 柱 | 地域力 | 基本方針 | 地域を支える人材の育成 |
| 施策コード | 1-A-2-2 集い学び合う交流環境づくり | | |
| プロジェクト | みんなが主役で愛する地域をつくるプロジェクト | | |
| 施策の目的 | 町民の自主的なスポーツ活動を支援する。 | | |

3. 事業の実施状況

| | | |
|------------------------------------|---|----------------------------|
| 基金の運用状況 | 21年度末現在高 24,063千円 | ・22年度取崩し額 1,500千円 |
| | 22年度末現在高 22,563千円 | ・運用益金(利子) 49,791円は一般会計へ繰入れ |
| ①国大会に出場する競技成績優秀者への激励金の交付 (8個人、3団体) | 225千円 | |
| ②アップル町民駅伝競走大会出場チームへの支援 | 325千円 …13チーム | |
| ③町体育協会への各種スポーツ大会の運営委託 | 850千円 …16団体 607人 | |
| ④総合型地域スポーツクラブ運営支援 補助金 | 969千円 | |
| 朝日ふれあいスポーツクラブ | 通年5教室(健美操、ルーシーダットン、エアロビクス、チャレンジスポーツ、ちびっこスポーツ) 会員86人 季節教室(ウォーキング、吹矢)2教室 31人 | |
| ⑤スポーツ少年団の育成 補助金 | 180千円… 9団体 147人 | |

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

| | | | | | | | |
|-------|-------|-------|---|----|-------|-----|-------|
| 当初予算額 | 3,141 | 補正予算額 | 0 | 合計 | 3,141 | 決算額 | 2,706 |
|-------|-------|-------|---|----|-------|-----|-------|

5. 事業の評価

| 評価の視点(評価項目) | | 評価 | 評価の理由 |
|-------------|------------------------------|----------------|---|
| 必要性 | 社会情勢や町民のニーズに対応しているか | ○ 適切に対応している | 町のスポーツ振興とスポーツ水準の向上を図るため基金の運用を行う。 |
| | | 概ね対応できている | |
| | | ほとんど対応できていない | |
| 有効率性 | 投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか | ○ 十分効果が得られている | 競技成績優秀者の激励、体協事業への運営委託、朝日ふれあいスポーツクラブの運営支援を行い、町スポーツの振興に努めることができた。 |
| | | ある程度の効果が得られている | |
| | | 効果があまり得られていない | |

6. 今後の対応策

| | |
|-------|--|
| 方向性 | 拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止 |
| 今後の対応 | 基金を毎年取り崩していることから原資が減少しており、これからの基金のあり方について検討する時期にきている。 朝日ふれあいスポーツクラブの自立に向けた育成と支援を行う。 |

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

| | |
|-------|--------|
| 事務事業名 | 教育委員会費 |
|-------|--------|

| | | | |
|----------|---|----|--------|
| 予算 科目 | 款 | 10 | 教育費 |
| | 項 | 01 | 教育総務費 |
| | 目 | 01 | 教育委員会費 |

2. 実施計画との関係

| | | | |
|--------|--|------|-------------------|
| 柱 | 地域力 | 基本方針 | 未来を担う子ども達の教育環境づくり |
| 施策コード | 1-B-1-1 応用力のある確かな学力を育てる | | |
| プロジェクト | みんなで育てる子ども成長プロジェクト | | |
| 施策の目的 | 教育委員会定例会を原則月1回開催し、学校教育、社会教育の課題を協議、調整、意思統一を図る。 学校訪問をはじめ、常に教育の現場を把握し適切な指導助言を行う。 | | |

3. 事業の実施状況

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員 5人 ・定例教育委員会 12回開催、臨時会 1回開催、議案 16件 ・西村山市町教委連絡協議会総会・研修会（朝日町）7/30 ・山形県市町村教育委員大会（寒河江市）8/26 ・教育委員視察研修 宮城県七ヶ浜町教育委員会 1/20～21 ・各校学校訪問 西小 6/15、宮宿小 6/23、大谷小 6/29、朝日中 6/11 ・各種事業への参加（教職員辞令交付式、入学式、小体連陸上・水泳・スキー記録会、小学校運動会、生涯学習大会、卒業式 他） ・町長学校訪問 宮小・大谷小 11/19 西小・朝日中 12/14 |
|---|

4. 予算額・決算額

（単位：千円 千円未満切上げ）

| | | | | | | | |
|-------|-------|-------|---|----|-------|-----|-------|
| 当初予算額 | 1,341 | 補正予算額 | 0 | 合計 | 1,341 | 決算額 | 1,064 |
|-------|-------|-------|---|----|-------|-----|-------|

5. 事業の評価

| 評価の視点（評価項目） | | 評価 | 評価の理由 |
|-------------|---|----------------|--|
| 必要性 | 社会情勢や町民のニーズの変化に対応しているか | ○ 適切に対応している | 地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づく設置。 |
| | | 概ね対応できている | |
| | | ほとんど対応できていない | |
| 有効率性 | 投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか (費用対効果は適正か) | ○ 十分効果が得られている | 必要最小限の経費で実施。 町長の学校訪問は他市町村に見られない事業である。 |
| | | ある程度の効果が得られている | |
| | | 効果があまり得られていない | |

6. 今後の対応策

| | |
|-------|--|
| 方向性 | 拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止 |
| 今後の対応 | このまま継続していきます。 |

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

| | |
|-------|-------------|
| 事務事業名 | 教育委員会事務局総務費 |
|-------|-------------|

| | | | |
|----------|---|----|-------|
| 予算 科目 | 款 | 10 | 教育費 |
| | 項 | 01 | 教育総務費 |
| | 目 | 02 | 事務局費 |

2. 実施計画との関係

| | | | |
|--------|---|------|-------------------|
| 柱 | 地域力 | 基本方針 | 未来を担う子ども達の教育環境づくり |
| 施策コード | 1・B・1・1 応用力のある確かな学力を育てる | | |
| プロジェクト | みんなで育てる子ども成長プロジェクト | | |
| 施策の目的 | 適切な学校運営に必要な各種事務を行う。 第五次朝日町総合発展計画に基づき、学校、家庭、地域のトライアングルパートナーシップによる「自ら未来を切り拓くたくましい朝日っ子」をめざし、様々な政策を検討する。 | | |

3. 事業の実施状況

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・朝日町教育振興計画策定（策定委員 7 名） 策定委員会 10 回開催 ・教育事務事業点検・評価（外部評価委員 3 名） 評価委員会 3 回開催 ・第 13 回小中学生ひめさゆり俳句大会（543 名、1,189 句） ・職員一般旅費 ・一般消耗品費、教委ワゴン車燃料費等の需用費 ・西村山中学校体育・文化連盟等各種負担金 ・スクールカウンセラー（県費）を 2 人配置し、心に問題を抱える生徒（教室に入れない生徒）や不登校児童への対応を図っている。 延べ 50 日×4 時間=200 時間 ・特別支援学校通学者への支援（生活支援経費として） 高等部 2 人 |
|--|

4. 予算額・決算額

（単位：千円 千円未満切上げ）

| | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-----|----|-------|-----|-------|
| 当初予算額 | 2,887 | 補正予算額 | 149 | 合計 | 3,036 | 決算額 | 2,432 |
|-------|-------|-------|-----|----|-------|-----|-------|

5. 事業の評価

| 評価の視点（評価項目） | | 評 価 | 評価の理由 |
|------------------|---|----------------|---------------------|
| 必 要 性 | 社会情勢や町民のニーズの変化に対応しているか | ○ 適切に対応している | 事務局の経費と政策事業を展開している。 |
| | | 概ね対応できている | |
| | | ほとんど対応できていない | |
| 有 効 率 性 | 投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか (費用対効果は適正か) | ○ 十分効果が得られている | 事務局運営に最小限必要な経費で実施。 |
| | | ある程度の効果が得られている | |
| | | 効果があまり得られていない | |

6. 今後の対応策

| | |
|-------|--|
| 方向性 | ○ 拡充 継続 縮小 見直し 休廃止 |
| 今後の対応 | 朝日町教育振興計画実施計画の策定とその後の検証、朝日町教育事務点検評価の実施（平成 22 年度から）により教育行政活性化を図ります。 |

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

| | |
|-------|--------|
| 事務事業名 | 教育研究所費 |
|-------|--------|

| | | | |
|----------|---|----|--------|
| 予算 科目 | 款 | 10 | 教育費 |
| | 項 | 01 | 教育総務費 |
| | 目 | 03 | 教育研究所費 |

2. 実施計画との関係

| | | | |
|--------|----------------------------|------|-------------------|
| 柱 | 地域力 | 基本方針 | 未来を担う子ども達の教育環境づくり |
| 施策コード | 1-B-1-1 応用力のある確かな学力を育てる | | |
| プロジェクト | みんなで育てる子ども成長プロジェクト | | |
| 施策の目的 | 教職員の指導力向上を図る | | |

3. 事業の実施状況

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の各部会における研修、研究、全体研修 課題研究部会（郷土学習部会 22 人、いのちの教育部会 16 人、情報教育部会 14 人） 校務研究部会（養護教諭部会 5 人、事務職員部会 5 人） 学力向上委員会 教務主任会 5 人 理科センター 理科担当者 5 人 子育て生徒指導部会 21 人 英語研究部会 6 人 ・学習指導研究委員会 西五百川小学校 1 年次 委託費 10 万円 ・標準学力検査の数値は、小学校、中学校ともに 50 の平均値を上回った。学力検査の結果は学力向上委員会で分析・検討を行い、課題を明確にし各校の情報交換を行いながら、日々の学習活動に活かしている。 |
|---|

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

| | | | | | | | |
|-------|-------|-------|---|----|-------|-----|-------|
| 当初予算額 | 1,242 | 補正予算額 | 0 | 合計 | 1,242 | 決算額 | 1,046 |
|-------|-------|-------|---|----|-------|-----|-------|

5. 事業の評価

| 評価の視点 (評価項目) | | 評価 | 評価の理由 |
|--------------|---|----------------|---|
| 必要性 | 社会情勢や町民のニーズの変化に対応しているか | ○ 適切に対応している | 新学習指導要領の実施に伴う移行措置への対応や教職員の授業力の向上が強く望まれている。 |
| | | 概ね対応できている | |
| | | ほとんど対応できていない | |
| 有効率性 | 投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか (費用対効果は適正か) | ○ 十分効果が得られている | 各部門ごとに課題を整理し研究に取り組んでいる。特に新学習指導要領の実施に伴い英語活動推進部会の充実をはかった。 |
| | | ある程度の効果が得られている | |
| | | 効果があまり得られていない | |

6. 今後の対応策

| | |
|-------|---|
| 方向性 | 拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止 |
| 今後の対応 | 教育研究所の研究機関としての意義は大きいものがあります。学社連携を含めて今後も継続していくことが重要であります。 保小連携、小中連携の重要性に鑑み、研究課題として取り上げていきます。 また、特別支援教育の充実のため、平成 23 年度より課題研究部会の一つとして立ち上げています。 |

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

| | |
|-------|----------|
| 事務事業名 | 小学校教育振興費 |
|-------|----------|

| | | | |
|----------|---|----|-------|
| 予算 科目 | 款 | 10 | 教育費 |
| | 項 | 02 | 小学校費 |
| | 目 | 02 | 教育振興費 |

2. 実施計画との関係

| | | | |
|--------|---|------|-------------------|
| 柱 | 地域力 | 基本方針 | 未来を担う子ども達の教育環境づくり |
| 施策コード | 1・B・1・1 応用力のある確かな学力を育てる | | |
| プロジェクト | みんなで育てる子ども成長プロジェクト | | |
| 施策の目的 | 情緒障害や知的障害児の支援 教材の活用により分かりやすい授業が行われ、児童の学習意欲向上を図る。 | | |

3. 事業の実施状況

| |
|---|
| 小学校3、児童数361人【22クラス（内特支4クラス）】 |
| ・学力向上（特色ある学校づくりを含む）を各校に委託 委託費 各校280千円 |
| ・教育事情視察研修（各校学習指導担当）秋田県 |
| ・小体連陸上（5/19）・水泳記録会（7/9） |
| ・西五百川・宮宿小学校の図書データ化 |
| ・海の子山の子交流事業 西五百川小学校⇄宮城県七ヶ浜町立汐見小学校 7/17 海の集い（宮城県七ヶ浜町）、2/5 山の集い（朝日町） |
| ・各校の教材備品及び一般備品の購入 3,486千円 |
| ・芸術鑑賞事業補助 250千円 |
| ・準要保護対象者12人、特殊教育奨励該当者7人 |
| ・特別支援学校通学者への支援（生活支援経費として）2人 |
| ・学習生活指導補助員（宮小2人、西小1人（県費））、生活介護員（宮小1人）を配置 |

4. 予算額・決算額

（単位：千円 千円未満切上げ）

| | | | | | | | |
|-------|--------|-------|-----|----|--------|-----|--------|
| 当初予算額 | 12,996 | 補正予算額 | 100 | 合計 | 13,096 | 決算額 | 11,575 |
|-------|--------|-------|-----|----|--------|-----|--------|

5. 事業の評価

| 評価の視点（評価項目） | | 評 価 | 評価の理由 |
|------------------|---|----------------|--|
| 必 要 性 | 社会情勢や町民のニーズ の変化に対応しているか | ○ 適切に対応している | きめ細かな学習環境の推進のため、学習生活補助員の配置、教材・管理備品の補充、特別支援・準要保護児童の支援等を行った。 |
| | | 概ね対応できている | |
| | | ほとんど対応できていない | |
| 有 効 率 性 | 投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか （費用対効果は適正か） | ○ 十分効果が得られている | 学校の実情にあわせた学習環境の充実を図っている。 |
| | | ある程度の効果が得られている | |
| | | 効果があまり得られていない | |

6. 今後の対応策

| | |
|-------|---|
| 方向性 | 拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止 |
| 今後の対応 | 引き続き学習生活指導補助員を配置し、個々の特性に対応していきます。 新学習指導要領の実施に対する学習環境のさらなる充実を図る必要があります。 学力向上・特色ある学校づくり等に一層の成果を期待します。 |

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

| | |
|-------|--------------|
| 事務事業名 | 小学校社会科副読本製作費 |
|-------|--------------|

| | | | |
|----------|---|----|-------|
| 予算 科目 | 款 | 10 | 教育費 |
| | 項 | 02 | 小学校費 |
| | 目 | 02 | 教育振興費 |

2. 実施計画との関係

| | | | |
|--------|----------------------------|------|-------------------|
| 柱 | 地域力 | 基本方針 | 未来を担う子ども達の教育環境づくり |
| 施策コード | 1・B・1・1 応用力のある確かな学力を育てる | | |
| プロジェクト | みんなで育てる子ども成長プロジェクト | | |
| 施策の目的 | 学習指導要領に基づき副読本を作成している。 | | |

3. 事業の実施状況

| |
|------------------------|
| ・小学校3・4年生社会科副読本増刷 150冊 |
|------------------------|

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

| | | | | | | | |
|-------|-----|-------|---|----|-----|-----|-----|
| 当初予算額 | 630 | 補正予算額 | 0 | 合計 | 630 | 決算額 | 630 |
|-------|-----|-------|---|----|-----|-----|-----|

5. 事業の評価

| 評価の視点（評価項目） | | 評 価 | 評価の理由 |
|------------------|---|----------------|----------------------|
| 必 要 性 | 社会情勢や町民のニーズの変化に対応しているか | 適切に対応している | 内容の見直しができず、増刷のみとなった。 |
| | | ○ 概ね対応できている | |
| | | ほとんど対応できていない | |
| 有 効 率 性 | 投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか (費用対効果は適正か) | ○ 十分効果が得られている | 朝日町の状況を十分に反映している。 |
| | | ある程度の効果が得られている | |
| | | 効果があまり得られていない | |

6. 今後の対応策

| | | | | | |
|-------|--|----|----|-----|-------|
| 方向性 | 拡充 | 継続 | 縮小 | 見直し | ○ 休廃止 |
| 今後の対応 | 教育振興費の中で対応します。 次回の印刷は平成 25 年度を予定しています。前年度に編集委員会を組織し、全面見直しを行います。 | | | | |

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

| | |
|-------|----------|
| 事務事業名 | 中学校教育振興費 |
|-------|----------|

| | | | |
|----------|---|----|-------|
| 予算 科目 | 款 | 10 | 教育費 |
| | 項 | 03 | 中学校費 |
| | 目 | 02 | 教育振興費 |

2. 実施計画との関係

| | | | |
|--------|---|------|-------------------|
| 柱 | 地域力 | 基本方針 | 未来を担う子ども達の教育環境づくり |
| 施策コード | 1・B・1・1 応用力のある確かな学力を育てる | | |
| プロジェクト | みんなで育てる子ども成長プロジェクト | | |
| 施策の目的 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒の学ぶ力を高める。 特殊教育就学支援 要保護・準要保護児童の支援 特別学校通学者への支援 | | |

3. 事業の実施状況

| |
|--|
| <p>朝日中学校 生徒数 193 人【8 クラス（内特支 1 クラス）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学力向上（特色ある学校づくりを含めて）委託 66 万円 教材備品及び一般備品（生徒用机・椅子購入 30 組含む）の購入 2,822 千円 県大会・東北大会派遣、部活動補助 797 千円 芸術鑑賞事業補助金額 145 千円 準要保護対象者 6 人、特殊教育奨励該当者 1 人 学習生活指導補助員（町費 1 人、県費 1 人）の配置 |
|--|

4. 予算額・決算額

（単位：千円 千円未満切上げ）

| | | | | | | | |
|-------|-------|-------|------|----|-------|-----|-------|
| 当初予算額 | 8,625 | 補正予算額 | -220 | 合計 | 8,405 | 決算額 | 7,252 |
|-------|-------|-------|------|----|-------|-----|-------|

5. 事業の評価

| 評価の視点（評価項目） | | 評 価 | 評価の理由 |
|-------------|---|----------------|---|
| 必要性 | 社会情勢や町民のニーズの変化に対応しているか | ○ 適切に対応している | きめ細かな学習環境の推進のための学習生活補助員の配置、教材・管理備品の補充、特別支援・準要保護生徒の支援等を行なった。 |
| | | 概ね対応できている | |
| | | ほとんど対応できていない | |
| 有効率性 | 投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか (費用対効果は適正か) | ○ 十分効果が得られている | 不登校気味の生徒への指導として、学習生活指導補助員を配置した結果、大きな効果が得られている。 学校の実情にあわせた学習環境の充実をはかっている。 |
| | | ある程度の効果が得られている | |
| | | 効果があまり得られていない | |

6. 今後の対応策

| | |
|-------|--|
| 方向性 | 拡充 ○ 継続 縮小 見直し 廃止 |
| 今後の対応 | 引き続き学習生活指導補助員の配置をしていきます。 新学習指導要領の実施に対する学習環境のさらなる充実を図る必要があります。 学力向上・特色ある学校づくり等に一層の成果を期待します。 |

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

| | |
|-------|------------|
| 事務事業名 | 英語指導助手招致事業 |
|-------|------------|

| | | | |
|----------|---|----|-------|
| 予算 科目 | 款 | 10 | 教育費 |
| | 項 | 03 | 中学校費 |
| | 目 | 02 | 教育振興費 |

2. 実施計画との関係

| | | | |
|--------|---|------|-------------------|
| 柱 | 地域力 | 基本方針 | 未来を担う子ども達の教育環境づくり |
| 施策コード | 1-B-1-1 応用力のある確かな学力を育てる | | |
| プロジェクト | みんなで育てる子ども成長プロジェクト | | |
| 施策の目的 | 小学校における国際理解と英語力の向上 中学校における英語教育（コミュニケーション能力）の充実 | | |

3. 事業の実施状況

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 平成 23 年度からの小学校学習指導要領の改訂、平成 24 年度からの中学校指導要領の改訂により、理数系のほか語学が強化され、特に小学校 5・6 年は必修教科英語活動となった。従来の J E T 利用の A L T では不安要素が大きく、町単独でモラ・マーティの招致を行っている。期間は平成 23 年 7 月まで。 モラ・マーティはハロウィンパーティーを企画実施し、国際交流の進展に寄与している。 |
|---|

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

| | | | | | | | |
|-------|-------|-------|----|----|-------|-----|-------|
| 当初予算額 | 4,707 | 補正予算額 | 52 | 合計 | 4,759 | 決算額 | 4,563 |
|-------|-------|-------|----|----|-------|-----|-------|

5. 事業の評価

| 評価の視点（評価項目） | | 評 価 | 評価の理由 |
|-------------|---|----------------|---|
| 必要性 | 社会情勢や町民のニーズの変化に対応しているか | ○ 適切に対応している | 児童生徒に対して生の外国語に触れさせることが大切である。 新学習指導要領の実施により、教職員への英語力指導の向上が重要である。 |
| | | 概ね対応できている | |
| | | ほとんど対応できていない | |
| 有効性 | 投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか (費用対効果は適正か) | ○ 十分効果が得られている | J E T 事業による A L T は、優秀な人材確保ができない。モラ・マーティは日本語に堪能で、日本文化にも溶け込み、適切な指導をしている。 |
| | | ある程度の効果が得られている | |
| | | 効果があまり得られていない | |

6. 今後の対応策

| | |
|-------|--|
| 方向性 | 拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止 |
| 今後の対応 | 平成 25 年 7 月までは現体制で配置します。その後については、J E T や他の事業なども検討していきます。 |

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

| | |
|-------|--------------|
| 事務事業名 | 青少年健全育成推進事業費 |
|-------|--------------|

| | | | |
|----------|---|----|---------|
| 予算 科目 | 款 | 10 | 教育費 |
| | 項 | 04 | 社会教育費 |
| | 目 | 01 | 社会教育総務費 |

2. 実施計画との関係

| | | | |
|--------|---|------|-------------------|
| 柱 | 地域力 | 基本方針 | 未来を担う子ども達の教育環境づくり |
| 施策コード | 1-B-1-3 | | |
| | 地域、家庭の教育力向上への支援 | | |
| プロジェクト | みんなで育てる子ども成長プロジェクト | | |
| 施策の目的 | 家庭、学校、地域が一体となった町全体の共通目標を掲げ、町民全体による子育てを推進する。 | | |

3. 事業の実施状況

| |
|--|
| ①青少年健全育成町民会議 委員 29人、7/12総会 8/3 青少年健全育成町民大会 事例紹介「ドキドキ探検隊」 講演「子どもとかわる時の魔法の言葉」質問家 松田 充弘 氏 200人 |
| ②青少年育成推進員活動 委員 7人 会議、公民館事業の活動補助 |
| ③青少年指導センター 委員 25人 街頭指導(8月・3月は震災で中止)、研修会、会議 |
| ④学社連携活動 生活キャンペーン 標語のぼり旗の設置 教育研究所子育て生徒指導部会 3回 |

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

| | | | | | | | |
|-------|-----|-------|---|----|-----|-----|-----|
| 当初予算額 | 363 | 補正予算額 | 0 | 合計 | 363 | 決算額 | 135 |
|-------|-----|-------|---|----|-----|-----|-----|

5. 事業の評価

| 評価の視点(評価項目) | | 評価 | 評価の理由 |
|-------------|------------------------------|----------------|--|
| 必要性 | 社会情勢や町民のニーズに対応しているか | ○ 適切に対応している | 家庭、学校、地域と子どもの生活に係わる各分野の調整や活動支援を行い、町全体で子どもの健全な成長を支える。 |
| | | 概ね対応できている | |
| | | ほとんど対応できていない | |
| 有効率性 | 投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか | ○ 十分効果が得られている | 街頭指導や研修、公民館事業を通して非行の未然防止や健全な心を育てる子ども育成団体の活動支援を行った。生活キャンペーンの幟旗を各施設に設置し、啓蒙活動や学社連携による実践活動に取り組み効果を上げた。 |
| | | ある程度の効果が得られている | |
| | | 効果があまり得られていない | |

6. 今後の対応策

| | |
|-------|---|
| 方向性 | 拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止 |
| 今後の対応 | 学校や保育園などを巻き込み、学校教育分野と社会教育分野で連携しながら基本的な生活習慣を身につける生活キャンペーンの取り組みを継続していく。 |

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

| | |
|-------|-----|
| 事務事業名 | 就学費 |
|-------|-----|

| | | | |
|----------|---|----|-------|
| 予算 科目 | 款 | 10 | 教育費 |
| | 項 | 01 | 教育総務費 |
| | 目 | 02 | 事務局費 |

2. 実施計画との関係

| | | | |
|--------|--|------|-------------------|
| 柱 | 地域力 | 基本方針 | 未来を担う子ども達の教育環境づくり |
| 施策コード | 1-B-1-4 安心して教育が受けられるための支援・教育内容に合った施設設備整備 | | |
| プロジェクト | みんなで育てる子ども成長プロジェクト | | |
| 施策の目的 | 次年度就学する児童の身体の疾患や、知的発達の度合いを検査する。 健常児であれば小学校普通学級に就学するが、心身に障害があり特別な支援が必要な児童の場合、障害のある児童を対象とした就学相談を受けるよう指導する。健診後、就学先学校を各家庭に通知する。 | | |

3. 事業の実施状況

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・就学時健診 対象児童 52 人 集合検診（歯科、眼科、耳鼻科、視力、聴力、ことば）10/14 内科健診、知能検査 西小 10/12、宮宿小 10/4、大谷小 10/13 ・就学指導委員会 3 回開催（委員 14 人：学校、保育園、医師、健康福祉課） 児童の心体及び生活状況を把握し、適正就学に努めている。 第 1 回 H22 事業計画、各校の特別支援教育を必要とする児童生徒について、H23 就学予定児童について 第 2 回 H23 就学予定児童の健診結果について、H23 特別支援教育を必要とする児童生徒について 第 3 回 中止 第 4 回 教育委員会への答申について、H24 就学予定児童について |
|---|

4. 予算額・決算額

（単位：千円 千円未満切上げ）

| | | | | | | | |
|-------|-----|-------|---|----|-----|-----|-----|
| 当初予算額 | 125 | 補正予算額 | 0 | 合計 | 125 | 決算額 | 120 |
|-------|-----|-------|---|----|-----|-----|-----|

5. 事業の評価

| 評価の視点（評価項目） | | 評 価 | 評価の理由 |
|-------------|---|----------------|--|
| 必要性 | 社会情勢や町民のニーズの変化に対応しているか | ○ 適切に対応している | 就学予定児に対する、法に基づく検診であり、小学校入学のための準備（リエンション）も含まれている。 |
| | | 概ね対応できている | |
| | | ほとんど対応できていない | |
| 有効率性 | 投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか （費用対効果は適正か） | ○ 十分効果が得られている | 就学時健診は、各小中学校の養護教諭、町健康福祉課の保健師の協力によりスムーズな対応ができている。また、就学指導委員会は学校、保育園の関係者を中心にお願いし適切な対応をしている。 |
| | | ある程度の効果が得られている | |
| | | 効果があまり得られていない | |

6. 今後の対応策

| | |
|-------|--|
| 方向性 | <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止 |
| 今後の対応 | 教育委員会の事業として実施していることから、平成 23 年度より事務局総務費に統合しています。 保護者負担を軽減するため、就学時健診を平成 23 年度より 2 日間から 1 日に短縮しています。 就学時健診の内科検診は、保育園の定期検診との重複について検討を要します。 |

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

| | |
|-------|------|
| 事務事業名 | 教職員費 |
|-------|------|

| | | | |
|----------|---|----|-------|
| 予算 科目 | 款 | 10 | 教育費 |
| | 項 | 01 | 教育総務費 |
| | 目 | 02 | 事務局費 |

2. 実施計画との関係

| | | | |
|--------|---|------|-------------------|
| 柱 | 地域力 | 基本方針 | 未来を担う子ども達の教育環境づくり |
| 施策コード | 1・B・1・4 安心して教育が受けられるための支援・教育内容に合った施設設備整備 | | |
| プロジェクト | みんなで育てる子ども成長プロジェクト | | |
| 施策の目的 | 教職員の健康管理 | | |

3. 事業の実施状況

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の健康診断 ・定期健康診断受診者 51 人（対象者 51 人） ・胃検診受診者 38 人（対象者 44 人） ・大腸がん検診受診者 28 人（対象者 28 人） ・精密検査受診者 18 人（該当者 27 人） <p>※ 受診者数は本事業費で対応した人数です。保険者で実施している人間ドックや健康診断、個人的に健康診断を受診している方を含めると、未受診者はゼロとなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校長会等への負担金 |
|--|

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

| | | | | | | | |
|-------|-----|-------|---|----|-----|-----|-----|
| 当初予算額 | 899 | 補正予算額 | 0 | 合計 | 899 | 決算額 | 811 |
|-------|-----|-------|---|----|-----|-----|-----|

5. 事業の評価

| 評価の視点（評価項目） | | 評価 | 評価の理由 |
|-------------|---|----------------|---|
| 必要性 | 社会情勢や町民のニーズの変化に対応しているか | ○ 適切に対応している | 教職員に対する、労働安全衛生法及び学校保健安全法に基づく健診である。 |
| | | 概ね対応できている | |
| | | ほとんど対応できていない | |
| 有効率性 | 投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか (費用対効果は適正か) | ○ 十分効果が得られている | 教職員の健診は、成人病センターで実施しているが、町立病院等他の検診機関での対応もある。 |
| | | ある程度の効果が得られている | |
| | | 効果があまり得られていない | |

6. 今後の対応策

| | |
|-------|---|
| 方向性 | <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止 |
| 今後の対応 | 教育委員会の事業で実施していることから、平成 23 年度より事務局総務費に統合しています。教職員の健康診断は、100%受診を勧めていきます。 |

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

| | |
|-------|--------|
| 事務事業名 | 小学校管理費 |
|-------|--------|

| | | | |
|----------|---|----|-------|
| 予算 科目 | 款 | 10 | 教育費 |
| | 項 | 02 | 小学校費 |
| | 目 | 01 | 学校管理費 |

2. 実施計画との関係

| | | | |
|--------|---|------|-------------------|
| 柱 | 地域力 | 基本方針 | 未来を担う子ども達の教育環境づくり |
| 施策コード | 1-B-1-4 安心して教育が受けられるための支援・教育内容に合った施設設備整備 | | |
| プロジェクト | みんなで育てる子ども成長プロジェクト | | |
| 施策の目的 | 児童の安全確保と適切な学校運営のため適切な維持管理を行う | | |

3. 事業の実施状況

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・建築後の経過年数により老朽化が進んでいる施設があるものの、法令等に基づく各種保守点検の実施や日常点検の充実を図っている。 ・光熱水費、通信運搬費について、月別状況を各校に配布し節電、節水等を指導している。 ・リフト点検、ボイラー点検、プール保守点検実施 ・廃校（旧立木小、旧送橋小、旧水本小、旧上郷小、旧大沼分校）の管理 維持費として、電気料 1,772,451 円、水道料 245,650 円、電話料 60,135 円 |
|--|

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

| | | | | | | | |
|-------|--------|-------|----|----|--------|-----|--------|
| 当初予算額 | 20,192 | 補正予算額 | 53 | 合計 | 20,245 | 決算額 | 17,970 |
|-------|--------|-------|----|----|--------|-----|--------|

5. 事業の評価

| 評価の視点（評価項目） | | 評 価 | 評価の理由 |
|-------------|---|----------------|---|
| 必要性 | 社会情勢や町民のニーズの変化に対応しているか | ○ 適切に対応している | 学校施設の維持管理費用である。 |
| | | 概ね対応できている | |
| | | ほとんど対応できていない | |
| 有効率性 | 投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか (費用対効果は適正か) | ○ 十分効果が得られている | 光熱水費は、各学校に対して定期的に利用状況を報告し、節約をお願いしている。小規模な修繕は学校の判断で対応している。廃校の維持費用がかかる。 |
| | | ある程度の効果が得られている | |
| | | 効果があまり得られていない | |

6. 今後の対応策

| | |
|-------|--|
| 方向性 | 拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止 |
| 今後の対応 | 引き続き、安全・安心で快適な施設となるよう管理を行っていきます。廃校学校の活用・処分について、関係機関と連携し対応していきます。 |

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

| | |
|-------|--------|
| 事務事業名 | 中学校管理費 |
|-------|--------|

| | | | |
|----------|---|----|-------|
| 予算 科目 | 款 | 10 | 教育費 |
| | 項 | 03 | 中学校費 |
| | 目 | 01 | 学校管理費 |

2. 実施計画との関係

| | | | |
|--------|---|------|-------------------|
| 柱 | 地域力 | 基本方針 | 未来を担う子ども達の教育環境づくり |
| 施策コード | 1・B・1・4 安心して教育が受けられるための支援・教育内容に合った施設設備整備 | | |
| プロジェクト | みんなで育てる子ども成長プロジェクト | | |
| 施策の目的 | 生徒の安全確保と適切な学校運営のため適切な維持管理を行う | | |

3. 事業の実施状況

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築後の経過年数により老朽化が進んでいるものの法令等に基づく各種保守点検の実施や日常点検の充実を図った。 ・ 光熱水費、通信運搬費について、月別状況を配布し節電、節水を指導した。 ・ 臨時職員（事務補助）を配置した。 |
|--|

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

| | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-----|----|-------|-----|-------|
| 当初予算額 | 9,324 | 補正予算額 | 250 | 合計 | 9,574 | 決算額 | 9,212 |
|-------|-------|-------|-----|----|-------|-----|-------|

5. 事業の評価

| 評価の視点（評価項目） | | 評 価 | 評価の理由 |
|------------------|---|----------------|--|
| 必 要 性 | 社会情勢や町民のニーズの変化に対応しているか | ○ 適切に対応している | 学校施設の維持管理費用である。 |
| | | 概ね対応できている | |
| | | ほとんど対応できていない | |
| 有 効 率 性 | 投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか (費用対効果は適正か) | ○ 十分効果が得られている | 光熱水費は、学校に対して定期的に利用状況を報告し、節約をお願いしている。小規模な修繕は学校の判断で対応している。 |
| | | ある程度の効果が得られている | |
| | | 効果があまり得られていない | |

6. 今後の対応策

| | |
|-------|--|
| 方向性 | 拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止 |
| 今後の対応 | 引き続き、安全・安心で快適な施設となるよう管理を行っていきます。 |

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

| | |
|-------|----------|
| 事務事業名 | 小学校保健衛生費 |
|-------|----------|

| | | | |
|----------|---|----|-------|
| 予算 科目 | 款 | 10 | 教育費 |
| | 項 | 02 | 小学校費 |
| | 目 | 01 | 学校管理費 |

2. 実施計画との関係

| | | | |
|--------|---|------|-------------------|
| 柱 | 地域力 | 基本方針 | 未来を担う子ども達の教育環境づくり |
| 施策コード | 1・B・1・4 安心して教育が受けられるための支援・教育内容に合った施設設備整備 | | |
| プロジェクト | みんなで育てる子ども成長プロジェクト | | |
| 施策の目的 | 病疾患の早期発見や子ども自身の健康維持に対する意識を高めることにより、子ども達が元気に学校生活を送れるようにする。 | | |

3. 事業の実施状況

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・学校医6人、薬剤師2人を委嘱し、各種検診(内科、歯科、耳鼻科、眼科)の実施した。 ・山形県成人病検査センターへ各種検査(ぎょう虫、尿、貧血、心電図)を委託した。 ・学校での集団検診を実施しているが、欠席者に対しては個別健診で対応した。 ・児童の日常における健康管理や安全については、校医の指導の下、養護教諭及び各学校保健委員会を中心に啓発指導を行った。 ・学校保健委員会の開催 西小(9/15)、宮小(7/13)、大谷小(7/12) |
|---|

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

| | | | | | | | |
|-------|-------|-------|----|----|-------|-----|-------|
| 当初予算額 | 2,596 | 補正予算額 | 10 | 合計 | 2,606 | 決算額 | 2,417 |
|-------|-------|-------|----|----|-------|-----|-------|

5. 事業の評価

| 評価の視点(評価項目) | | 評価 | 評価の理由 |
|-------------|---|----------------|--------------------------------------|
| 必要性 | 社会情勢や町民のニーズの変化に対応しているか | ○ 適切に対応している | 児童に対する、学校保健安全法に基づく健診である。 |
| | | 概ね対応できている | |
| | | ほとんど対応できていない | |
| 有効性 | 投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか (費用対効果は適正か) | ○ 十分効果が得られている | 町医師会、西村山地区医師会との連携により、スムーズな検診が行われている。 |
| | | ある程度の効果が得られている | |
| | | 効果があまり得られていない | |

6. 今後の対応策

| | |
|-------|--|
| 方向性 | 拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止 |
| 今後の対応 | 引き続き学校保健安全法に基づき検診を実施していきます。 |

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

| | |
|-------|----------|
| 事務事業名 | 中学校保健衛生費 |
|-------|----------|

| | | | |
|----------|---|----|-------|
| 予算 科目 | 款 | 10 | 教育費 |
| | 項 | 03 | 中学校費 |
| | 目 | 01 | 学校管理費 |

2. 実施計画との関係

| | | | |
|--------|---|------|-------------------|
| 柱 | 地域力 | 基本方針 | 未来を担う子ども達の教育環境づくり |
| 施策コード | 1・B・1・4 安心して教育が受けられるための支援・教育内容に合った施設設備整備 | | |
| プロジェクト | みんなで育てる子ども成長プロジェクト | | |
| 施策の目的 | 病疾患の早期発見や生徒自身の健康維持に対する意識を高めることにより、生徒達が元気に学校生活を送れるようにする。 | | |

3. 事業の実施状況

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・学校医4人、薬剤師1人を委嘱し、各種検診(内科、歯科、耳鼻科、眼科)の実施した。 ・山形県成人病検査センターへ各種検査(尿、貧血、心電図)を委託した。 ・学校での集団検診を実施しているが、欠席者に対しては個別健診で対応した。 ・生徒の日常における健康管理や安全については、校医の指導の下、養護教諭及び学校保健委員会を中心に啓発指導を行った。 ・学校保健委員会の開催 |
|---|

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

| | | | | | | | |
|-------|-------|-------|---|----|-------|-----|-------|
| 当初予算額 | 1,498 | 補正予算額 | 0 | 合計 | 1,498 | 決算額 | 1,292 |
|-------|-------|-------|---|----|-------|-----|-------|

5. 事業の評価

| 評価の視点(評価項目) | | 評価 | 評価の理由 |
|-------------|---|----------------|--------------------------------------|
| 必要性 | 社会情勢や町民のニーズの変化に対応しているか | ○ 適切に対応している | 生徒に対する、学校保健安全法に基づく健診である。 |
| | | 概ね対応できている | |
| | | ほとんど対応できていない | |
| 有効率性 | 投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか (費用対効果は適正か) | ○ 十分効果が得られている | 町医師会、西村山地区医師会との連携により、スムーズな検診が行われている。 |
| | | ある程度の効果が得られている | |
| | | 効果があまり得られていない | |

6. 今後の対応策

| | |
|-------|--|
| 方向性 | 拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止 |
| 今後の対応 | 引き続き学校保健安全法に基づき検診を実施していきます。 |

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

| | |
|-------|----------|
| 事務事業名 | 小学校整備事業費 |
|-------|----------|

| | | | |
|----------|---|----|-------|
| 予算 科目 | 款 | 10 | 教育費 |
| | 項 | 02 | 小学校費 |
| | 目 | 01 | 学校管理費 |

2. 実施計画との関係

| | | | |
|--------|---|------|-------------------|
| 柱 | 地域力 | 基本方針 | 未来を担う子ども達の教育環境づくり |
| 施策コード | 1-B-1-4 安心して教育が受けられるための支援・教育内容に合った施設設備整備 | | |
| プロジェクト | みんなで育てる子ども成長プロジェクト | | |
| 施策の目的 | 安全で安心して授業が受けられる施設の整備 | | |

3. 事業の実施状況

| |
|---|
| <p>西小：高架タンク配管修繕 119,700 円、舗装修繕 79,275 円、注油配管改修 735,000 円 旧水本小：圧力給水ポンプ修繕 152,250 円、トップガラス修繕 231,000 円 西小・宮小・大谷小・旧水本小・旧大沼分校：消防設備補修 460,783 円 宮小：給水配管漏水修繕 63,000 円 宮小：暖房機修繕 24,150 円 大谷小：暖房機基盤交換 132,930 円 他、西五百川小学校・宮宿小学校・大谷小学校へ小規模修繕予算配当</p> |
|---|

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

| | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-----|----|-------|-----|-------|
| 当初予算額 | 1,830 | 補正予算額 | 690 | 合計 | 2,520 | 決算額 | 3,136 |
|-------|-------|-------|-----|----|-------|-----|-------|

5. 事業の評価

| 評価の視点 (評価項目) | | 評価 | 評価の理由 |
|--------------|---|--------------------------------------|--|
| 必要性 | 社会情勢や町民のニーズの変化に対応しているか | <input type="radio"/> 適切に対応している | 安全・安心な学校維持のため、緊急性の高いものから修繕・改修を行っている。 |
| | | <input type="radio"/> 概ね対応できている | |
| | | <input type="radio"/> ほとんど対応できていない | |
| 有効率性 | 投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか (費用対効果は適正か) | <input type="radio"/> 十分効果が得られている | 不具合の状況について、専門家に確認の上整備方法を決定している。発注は、財務規則に基づき、入札、見積り合せ等により行っている。 |
| | | <input type="radio"/> ある程度の効果が得られている | |
| | | <input type="radio"/> 効果があまり得られていない | |

6. 今後の対応策

| | |
|-------|---|
| 方向性 | <input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 縮小 <input checked="" type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 廃止 |
| 今後の対応 | <p>引き続き、安全・安心で快適な施設となるよう整備を行っていきます。 耐震工事については、平成 23 年度に宮宿小学校屋内運動場の改築を実施しており、西五百川小学校屋内運動場のみが耐力度不足となっています。子どもたちの安全・安心を確保するため、早急な改築又は改修を関係機関に要望します。 小学校管理費へ統合を検討します。</p> |

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

| | |
|-------|----------|
| 事務事業名 | 小学校建設事業費 |
|-------|----------|

| | | | |
|----------|---|----|-------|
| 予算 科目 | 款 | 10 | 教育費 |
| | 項 | 02 | 小学校費 |
| | 目 | 04 | 学校建設費 |

2. 実施計画との関係

| | | | |
|--------|---|------|-------------------|
| 柱 | 地域力 | 基本方針 | 未来を担う子ども達の教育環境づくり |
| 施策コード | 1-B-1-4 安心して教育が受けられるための支援・教育内容に合った施設設備整備 | | |
| プロジェクト | みんなで育てる子ども成長プロジェクト | | |
| 施策の目的 | 安全で安心して授業が受けられる施設の整備 | | |

3. 事業の実施状況

| |
|---|
| <p>・宮宿小学校屋内運動場改築工事関係 地質調査業務委託 577,500 円 工事設計業務委託 15,330,000 円</p> |
|---|

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

| | | | | | | | |
|-------|--------|-------|---------|----|---------|-----|---------|
| 当初予算額 | 18,000 | 補正予算額 | 439,850 | 合計 | 457,850 | 決算額 | 173,908 |
|-------|--------|-------|---------|----|---------|-----|---------|

宮宿小学校屋内運動場改築関係費 281,850 千円を平成 23 年度へ繰越

5. 事業の評価

| 評価の視点 (評価項目) | | 評 価 | 評価の理由 |
|--------------|---|----------------|---|
| 必要性 | 社会情勢や町民のニーズの変化に対応しているか | ○ 適切に対応している | 地域・議会・学校からは十数年前から要望が出されたいた。子どもたちの安全・安心を図るためにも改築が必要であった。 |
| | | 概ね対応できている | |
| | | ほとんど対応できていない | |
| 有効率性 | 投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか (費用対効果は適正か) | ○ 十分効果が得られている | 発注は、財務規則に基づき、入札、見積り合せ等により行っている。 |
| | | ある程度の効果が得られている | |
| | | 効果があまり得られていない | |

6. 今後の対応策

| | |
|-------|---|
| 方向性 | 拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止 |
| 今後の対応 | 西五百川小学校屋内運動場の改築又は改修工事までは事務事業として残しますが、その後は廃止します。 |

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

| | |
|-------|----------|
| 事務事業名 | 中学校整備事業費 |
|-------|----------|

| | | | |
|----------|---|----|-------|
| 予算 科目 | 款 | 10 | 教育費 |
| | 項 | 03 | 中学校費 |
| | 目 | 01 | 学校管理費 |

2. 実施計画との関係

| | | | |
|--------|--|------|-------------------|
| 柱 | 地域力 | 基本方針 | 未来を担う子ども達の教育環境づくり |
| 施策コード | 1・B・1・4 安心して教育が受けられるための支援・教育内容に合った施設設備整備 | | |
| プロジェクト | みんなで育てる子ども成長プロジェクト | | |
| 施策の目的 | 授業等に支障をきたすことがないように適切な施設の維持管理が図られ、安心して授業に取り組むことが出来る快適な学校教育環境を整備する | | |

3. 事業の実施状況

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・渡り廊下塗装工事 803,250 円 耐震改修工事補助対象以外の部分 ・小規模修繕（学校配当） 1,139,040 円 |
|---|

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

| | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-----|----|-------|-----|-------|
| 当初予算額 | 1,530 | 補正予算額 | 650 | 合計 | 2,180 | 決算額 | 1,943 |
|-------|-------|-------|-----|----|-------|-----|-------|

5. 事業の評価

| 評価の視点（評価項目） | | 評 価 | 評価の理由 |
|------------------|---|----------------|--|
| 必 要 性 | 社会情勢や町民のニーズの変化に対応しているか | ○ 適切に対応している | 安全・安心な学校維持のため、緊急性の高いものから修繕・改修を行っている。 |
| | | 概ね対応できている | |
| | | ほとんど対応できていない | |
| 有 効 率 性 | 投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか (費用対効果は適正か) | ○ 十分効果が得られている | 不具合の状況について、専門家に確認の上整備方法を決定している。発注は、財務規則に基づき、入札、見積り合せ等により行っている。 |
| | | ある程度の効果が得られている | |
| | | 効果があまり得られていない | |

6. 今後の対応策

| | |
|-------|--|
| 方向性 | <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止 |
| 今後の対応 | 引き続き、安全・安心で快適な施設となるよう整備を行っていきます。 中学校管理費へ統合を検討します。 |

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

| | |
|-------|----------------|
| 事務事業名 | 中学校スクールバス購入事業費 |
|-------|----------------|

| | | | |
|----------|---|----|-------|
| 予算 科目 | 款 | 10 | 教育費 |
| | 項 | 03 | 中学校費 |
| | 目 | 01 | 学校管理費 |

2. 実施計画との関係

| | | | |
|--------|---|------|-------------------|
| 柱 | 地域力 | 基本方針 | 未来を担う子ども達の教育環境づくり |
| 施策コード | 1・B・1・4 安心して教育が受けられるための支援・教育内容に合った施設設備整備 | | |
| プロジェクト | みんなで育てる子ども成長プロジェクト | | |
| 施策の目的 | 遠距離通学生徒に年間を通した安全な通学を確保する。 | | |

3. 事業の実施状況

| |
|--|
| <p>・あさひ1号（太郎、三中方面）の更新 車両価格 4,147,500 円 他、手数料、公課費、保険料</p> |
|--|

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

| | | | | | | | |
|-------|-------|-------|------|----|-------|-----|-------|
| 当初予算額 | 5,228 | 補正予算額 | -850 | 合計 | 4,378 | 決算額 | 4,249 |
|-------|-------|-------|------|----|-------|-----|-------|

5. 事業の評価

| 評価の視点（評価項目） | | 評 価 | 評価の理由 |
|------------------|---|----------------|----------------------------|
| 必 要 性 | 社会情勢や町民のニーズの変化に対応しているか | ○ 適切に対応している | 車体の老朽化のための更新である。 |
| | | 概ね対応できている | |
| | | ほとんど対応できていない | |
| 有 効 率 性 | 投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか (費用対効果は適正か) | ○ 十分効果が得られている | 乗車する子どもたちの人数を考慮し、大きさを選定した。 |
| | | ある程度の効果が得られている | |
| | | 効果があまり得られていない | |

6. 今後の対応策

| | | | | | |
|-------|-----------------------|----|----|-------|-----|
| 方向性 | 拡充 | 継続 | 縮小 | ○ 見直し | 休廃止 |
| 今後の対応 | 中学校スクールバス運行費の中で対応します。 | | | | |

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

| | |
|-------|-----------|
| 事務事業名 | 小学校遠距離通学費 |
|-------|-----------|

| | | | |
|----------|---|----|-------|
| 予算 科目 | 款 | 10 | 教育費 |
| | 項 | 02 | 小学校費 |
| | 目 | 01 | 学校管理費 |

2. 実施計画との関係

| | | | |
|--------|---|------|-------------------|
| 柱 | 地域力 | 基本方針 | 未来を担う子ども達の教育環境づくり |
| 施策コード | 1-B-1-4 安心して教育が受けられるための支援・教育内容に合った施設設備整備 | | |
| プロジェクト | みんなで育てる子ども成長プロジェクト | | |
| 施策の目的 | 学校の統合にともない遠距離通学児童に年間を通した安全な通学を確保する | | |

3. 事業の実施状況

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・スクールバス等の利用児童数 79人 (21.9%) ・スクールバス3台運行 <ul style="list-style-type: none"> 三中線 (14人) 臨時職員 上郷線 (18人) 業者委託 和合線 (30人、内15人は往路は中学校スクールバス) 業者委託 ・スクールタクシー運行 (業者委託) <ul style="list-style-type: none"> 西小ー立木 (復路、往路は中学校スクールバス) 4人 宮小ー雪谷 (往復) 1人、水本 (往復) 8人 大谷小ー川通 (往復) 3人、大沼 (復路、往路は中学校スクールバス) 1人 ・運行については、運転手と打合せを随時行い、安全運行に努めている。 ・車両の老朽化に伴い安全運行維持の面から部品等の交換など修繕には万全を期している。 |
|---|

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

| | | | | | | | |
|-------|--------|-------|---|----|--------|-----|-------|
| 当初予算額 | 13,532 | 補正予算額 | 0 | 合計 | 13,532 | 決算額 | 9,386 |
|-------|--------|-------|---|----|--------|-----|-------|

5. 事業の評価

| 評価の視点 (評価項目) | | 評 価 | 評価の理由 |
|--------------|---|----------------|---|
| 必要性 | 社会情勢や町民のニーズの変化に対応しているか | ○ 適切に対応している | 学校統廃合による通学距離の遠距離や、統廃合における覚書等に基づきスクールバス、スクールタクシーの運行を行っている。 |
| | | 概ね対応できている | |
| | | ほとんど対応できていない | |
| 有効率性 | 投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか (費用対効果は適正か) | ○ 十分効果が得られている | 学校との調整により、スムーズな運行が行われている。乗車人数の少ないルートについては、タクシー等の利用で経費の削減を行っている。 |
| | | ある程度の効果が得られている | |
| | | 効果があまり得られていない | |

6. 今後の対応策

| | |
|-------|--|
| 方向性 | 拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止 |
| 今後の対応 | 安全運行のため、スクールバスの定期点検や更新を適切に行ってまいります。 |

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

| | |
|-------|--------------|
| 事務事業名 | 中学校スクールバス運行費 |
|-------|--------------|

| | | | |
|----------|---|----|-------|
| 予算 科目 | 款 | 10 | 教育費 |
| | 項 | 03 | 中学校費 |
| | 目 | 01 | 学校管理費 |

2. 実施計画との関係

| | | | |
|--------|---|------|-------------------|
| 柱 | 地域力 | 基本方針 | 未来を担う子ども達の教育環境づくり |
| 施策コード | 1・B・1・4 安心して教育が受けられるための支援・教育内容に合った施設設備整備 | | |
| プロジェクト | みんなで育てる子ども成長プロジェクト | | |
| 施策の目的 | 遠距離通学生徒に年間を通した安全な通学を確保する | | |

3. 事業の実施状況

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・遠距離から通学している生徒 106人 ・スクールバス3台運行 <ul style="list-style-type: none"> 立木線（23人、冬季間は雪谷より2人）臨時職員 太郎線（19人、冬季間は能中・川通より5人）臨時職員 大沼線（7人）臨時職員 ・スクールタクシー <ul style="list-style-type: none"> 水本線（1人）業者委託 ・山交バス（北部地区47人、大隅地区2人は冬季間のみ） ・運行については、運転手と打合せを随時行い、安全運行に努めている。 ・車両の老朽化に伴い安全運行維持の面から部品等の交換など修繕には万全を期している。 |
|---|

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

| | | | | | | | |
|-------|--------|-------|---|----|--------|-----|--------|
| 当初予算額 | 26,781 | 補正予算額 | 0 | 合計 | 26,781 | 決算額 | 16,204 |
|-------|--------|-------|---|----|--------|-----|--------|

5. 事業の評価

| 評価の視点（評価項目） | | 評価 | 評価の理由 |
|-------------|---|----------------|---|
| 必要性 | 社会情勢や町民のニーズの変化に対応しているか | ○ 適切に対応している | 通学距離に応じて、スクールバス、スクールタクシーの運行を行っている。 |
| | | 概ね対応できている | |
| | | ほとんど対応できていない | |
| 有効性 | 投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか (費用対効果は適正か) | ○ 十分効果が得られている | 学校との調整により、スムーズな運行が行われている。乗車人数の少ないルートについては、タクシー等の利用で経費の削減を行っている。 |
| | | ある程度の効果が得られている | |
| | | 効果があまり得られていない | |

6. 今後の対応策

| | |
|-------|---|
| 方向性 | 拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止 |
| 今後の対応 | 生徒数の推移により、効率的な運行体系をつくっていきます。 デマンドタクシーの拡大、バスの維持管理や運転手の確保、通学体制など総合的に判断し、運行体制（直営または委託）について検討していきます。 |

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

| | |
|-------|--------|
| 事務事業名 | 小学校給食費 |
|-------|--------|

| | | | |
|----------|---|----|-------|
| 予算 科目 | 款 | 10 | 教育費 |
| | 項 | 02 | 小学校費 |
| | 目 | 03 | 学校給食費 |

2. 実施計画との関係

| | | | |
|--------|---|------|-------------------|
| 柱 | 地域力 | 基本方針 | 未来を担う子ども達の教育環境づくり |
| 施策コード | 1・B・1・4 安心して教育が受けられるための支援・教育内容に合った施設設備整備 | | |
| プロジェクト | みんなで育てる子ども成長プロジェクト | | |
| 施策の目的 | バランスのとれた安全で安心な学校給食を提供し、健やかな子どもを育てる。 | | |

3. 事業の実施状況

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・自校炊飯を全校で実施 年間 180 日～190 日 給食の食材は保護者負担 1食 265 円 ・週 4 回米飯、1 回パンまたは麺類 ・献立作成会議 4 ヶ月に 1 回開催 ・町独自の調理師資質向上研修会 2 回開催(調理師全員参加) ・地産地消を目指し毎月 19 日をふるさと給食の日と定め地元の野菜や果物、農産加工品を提供した。 経費は、光熱水費、調理師代行、検査委託費等である。 |
|---|

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

| | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-----|----|-------|-----|-------|
| 当初予算額 | 3,355 | 補正予算額 | 605 | 合計 | 3,960 | 決算額 | 3,342 |
|-------|-------|-------|-----|----|-------|-----|-------|

5. 事業の評価

| 評価の視点(評価項目) | | 評価 | 評価の理由 |
|-------------|---|----------------|------------------------|
| 必要性 | 社会情勢や町民のニーズの変化に対応しているか | ○ 適切に対応している | 子どもの適正な栄養摂取に大きく貢献している。 |
| | | 概ね対応できている | |
| | | ほとんど対応できていない | |
| 有効率性 | 投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか (費用対効果は適正か) | ○ 十分効果が得られている | 自校給食のため地域の食材が活用される。 |
| | | ある程度の効果が得られている | |
| | | 効果があまり得られていない | |

6. 今後の対応策

| | |
|-------|--|
| 方向性 | 拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止 |
| 今後の対応 | 第3次朝日町行財政改革大綱では、学校給食の民間委託が決定されていますが、十分な準備と協議が必要であります。当面は直営での給食を行います。 |

事務事業点検・評価調書

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

| | |
|-------|--------|
| 事務事業名 | 中学校給食費 |
|-------|--------|

| | | | |
|----------|---|----|-------|
| 予算 科目 | 款 | 10 | 教育費 |
| | 項 | 03 | 中学校費 |
| | 目 | 03 | 学校給食費 |

2. 実施計画との関係

| | | | |
|--------|---|------|-------------------|
| 柱 | 地域力 | 基本方針 | 未来を担う子ども達の教育環境づくり |
| 施策コード | 1・B・1・4 安心して教育が受けられるための支援・教育内容に合った施設設備整備 | | |
| プロジェクト | みんなで育てる子ども成長プロジェクト | | |
| 施策の目的 | バランスのとれた安全で安心な学校給食を提供し、健やかな子どもを育てる。 | | |

3. 事業の実施状況

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・(有)地球耕望に副食給食を委託 ・給食の食材は保護者負担 食材1食 210円＋牛乳1本 44円 91銭 ・経費は、調理の委託費用である。 |
|---|

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

| | | | | | | | |
|-------|-------|-------|---|----|-------|-----|-------|
| 当初予算額 | 9,678 | 補正予算額 | 0 | 合計 | 9,678 | 決算額 | 9,133 |
|-------|-------|-------|---|----|-------|-----|-------|

5. 事業の評価

| 評価の視点(評価項目) | | 評価 | 評価の理由 |
|-------------|---|------------------|------------------------|
| 必要性 | 社会情勢や町民のニーズの変化に対応しているか | ○ 適切に対応している | 子どもの適正な栄養摂取に大きく貢献している。 |
| | | 概ね対応できている | |
| | | ほとんど対応できていない | |
| 有効率性 | 投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか (費用対効果は適正か) | 十分効果が得られている | 町内では委託業者の選択がなかなかできない。 |
| | | ○ ある程度の効果が得られている | |
| | | 効果があまり得られていない | |

6. 今後の対応策

| | |
|-------|--|
| 方向性 | 拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止 |
| 今後の対応 | 当面は業者委託とします。小学校の給食体系の検討に併せて検討していきます。 |

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

| | |
|-------|--------------|
| 事務事業名 | 放課後子どもプラン事業費 |
|-------|--------------|

| | | | |
|----------|---|----|--------|
| 予算 科目 | 款 | 10 | 教育費 |
| | 項 | 04 | 社会教育費 |
| | 目 | 02 | 中央公民館費 |

2. 実施計画との関係

| | | | |
|--------|---|------|-----------------|
| 柱 | 定住力 | 基本方針 | みんなで支える子育て環境の整備 |
| 施策コード | 3-A-1-4 | | |
| | みんなで支える子育て環境の整備・充実 | | |
| プロジェクト | みんなで支え合う子どもいっぱいプロジェクト | | |
| 施策の目的 | 放課後の子ども達の安心安全な居場所づくりを行う。また、子どもと大人の交流、大人同士の交流をすることにより、コミュニケーション能力を高め、生き生きした町づくりの一助としていく。 | | |

3. 事業の実施状況

| | | | |
|--|------|--------|--|
| 放課後子ども教室推進事業の実施 | | | |
| コーディネーター1人委嘱、安全管理員（きらきら見守り員）27人のボランティア | | | |
| 〈きらきらスクール〉(宮小) | | | |
| 自由あそび | 160日 | 4,701人 | |
| きらきら教室 | 9回 | 281人 | |
| 〈のびのびスクール〉(西小) | | | |
| (いもがわ少年教室) | 2回 | 23人 | |
| 〈どきどきスクール〉(大谷小) | | | |
| (ドキドキ探検隊) | 9回 | 104人 | |

4. 予算額・決算額

(単位：千円 千円未満切上げ)

| | | | | | | | |
|-------|-------|-------|------|----|-------|-----|-------|
| 当初予算額 | 1,475 | 補正予算額 | -184 | 合計 | 1,291 | 決算額 | 1,240 |
|-------|-------|-------|------|----|-------|-----|-------|

5. 事業の評価

| 評価の視点(評価項目) | | 評価 | 評価の理由 |
|-------------|------------------------------|----------------|--|
| 必要性 | 社会情勢や町民のニーズに対応しているか | ○ 適切に対応している | 放課後における子ども達が、安全安心で健やかに過ごせる居場所をつくる。 |
| | | 概ね対応できている | |
| | | ほとんど対応できていない | |
| 有効率性 | 投入した経費に見合った効果及び期待された成果は得られたか | ○ 十分効果が得られている | 放課後子ども教室を開設し、地域住民ボランティアによる児童の見守りなどを通し、地域に根ざした活動の中に児童が放課後安全安心に過ごせる場所を確保できた。 |
| | | ある程度の効果が得られている | |
| | | 効果があまり得られていない | |

6. 今後の対応策

| | |
|-------|--|
| 方向性 | 拡充 ○ 継続 縮小 見直し 休廃止 |
| 今後の対応 | 放課後子ども教室は適切に対応しており継続して実施する。 |

朝日町教育委員会事務事業点検・評価報告書（平成 22 年度分）

平成 23 年 8 月

朝日町教育委員会 教育文化課

〒990-1442

山形県西村山郡朝日町大字宮宿 2265 番地

TEL 0237-67-2118・3302

FAX 0237-67-3375

Email kyoiku@town.asahi.yamagata.jp

kanri@town.asahi.yamagata.jp
